# 西部第三土地区画整理記念館解体工事

# 設計図

			図		
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	面番号	図面名称
	表紙 • 図面表				
共通-01	建築工事特記仕様書 1				
共通-02	建築工事特記仕様書 2				
共通─03	建築工事特記仕様書 3				
A — 1	案内図	E - 1 ①集会所棟 幹線・動	力設備 平面図 M	- 1	給排水設備 器具表 機器表
A — 2	配置図(解体前) 仮設計画図(参考)	E - 2 ②ワークプラザ棟 幹	線·動力設備 平面図    M	<b>–</b> 2	屋外給水設備配置図(解体前)
A — 3	配置図(解体後)	E - 3 ③浜川戸作業所棟 幹	線·動力設備 配置図    M	<b>—</b> 3	屋外 給水設備 配置図(解体後)
A — 4	仕上表	E — 4 電灯・火災報知・弱電	設備器具表	_ 4	屋外 排水・ガス設備 配置図(解体前)
A — 5	①集会所棟 平面図	E − 5 ①集会所棟 電灯・火	災報知·弱電設備 平面図 M	_ 5	屋外 排水設備 配置図(解体後)
A — 6	①集会所棟 立面図 部分詳細図 建具表	E − 6 ②ワークプラザ棟 電	灯・火災報知・弱電設備 平面図 M	<u> </u>	①集会所棟 空調・換気設備 機器表
A — 7	①集会所棟 床伏図 部材リスト(参考)	E ─ 7 外構 電灯設備 配置	図 M	<b>- 7</b>	①集会所棟 空調・換気設備 平面図
A — 8	①集会所棟 アスベスト含有建材 平面図 立面図		M	<b>- 8</b>	②ワークプラザ棟 空調・換気設備 機器表
A — 9	②ワークプラザ棟 平面図 立面図 矩計図 建具表		M	<b>-</b> 9	②ワークプラザ棟 空調・換気設備 平面図
A — 1 0	部分詳細図1				
A — 1 1	部分詳細図 2				
A — 1 2	部分詳細図3				
A — 1 3	残置物撤去リスト(参考)				
参考-01	参考工程表				
参考-02	特別高圧線 平面図 立面図				

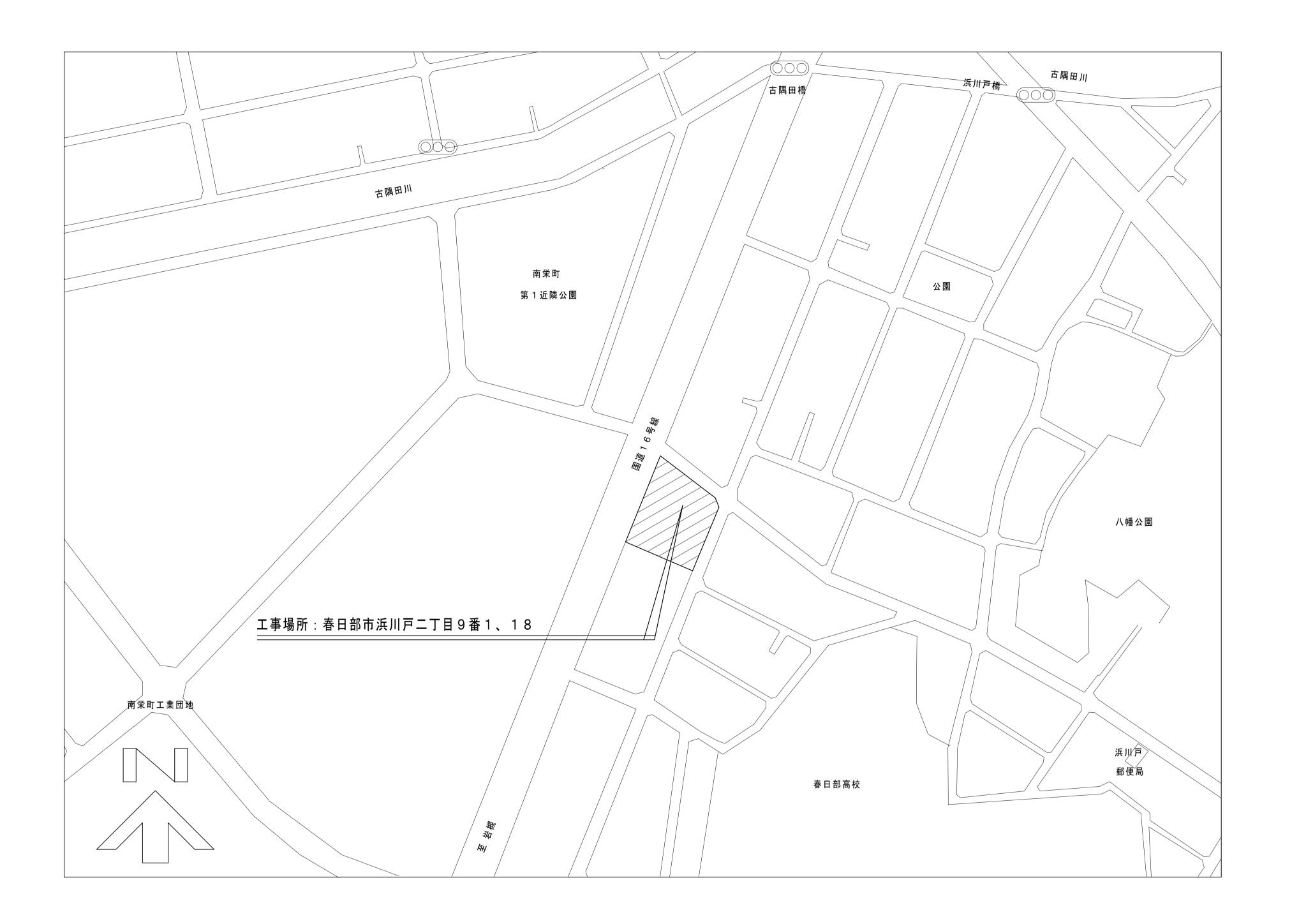
令和 7 年度

春日部市消防本部総務課

### 1997   1998	工业工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工	┃	土 様	(15) 材料の品質等	※本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上 [1.4.2]	21 保証書	
Table		(1)質問回答書、本特 「春日部市建築」	特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、以下による。 工事特別共通仕様書」	( 13 TT 7 AL 3 C 3	のものを使用する。ただし製造業者等が指定されている場合に同等以上 のものとする場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。 ※材料・機材等の製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証		建物引渡し日から10年間、受注者、施工者、材料メーカーの3者連名とし2部提出する。
Table		「公共建築改修」	工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」 (以下、「改修標準仕様書」という。) 標準仕様書(建築工事編)(最新版)」 (以下、「標準仕様書」という。)		を提出して監督員の承諾を受ける。 ① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること ② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること	(22) その他	
1.   1.   1.   1.   1.   1.   1.   1.		なお、新たな版がは	出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。		④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること ⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること ※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基		
### 1990   1990	9-18     165.00m2       合計     2,867.14m2       3. 工事種目 (建物概要)     西部第三土地区画整理記念館 解体対象 集会所棟 RC造 2階(地下 0階) 4 2 4 ㎡ 解体対象 ワークプラザ棟 S造 2階(地下 0階) 5 0 ㎡	している場合におい 監督員と協議するこ (3)本特記仕様書の表 1)項目は、番号に 2)特記事項は、 ① 印と 〇 印の付 3)特記事項に記載の 当該図表を示す。 4)特記事項に記載の 5)特記事項に記載の	↑て、それらが関係法令等(条例を含む)と異なる場合には、具体的な対応策について こと。 長記 ○印の付いたものを適用する。 ○ 印の付いたものを適用する。 ○ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 いた場合は、共に適用する。 ○ 印と ※の場合は、○のみを適用する。 ○ 日と ※の場合は、・のみを適用する。 ○ 日と ※の場合は、・のみを適用する。 ○ 日と ※の場合は、・のみを適用する。 ○ 日と ※の場合は、・のみを適用する。 ○ 日と ※の場合は、・のの表示番号は、「春日部市建築工事特別共通仕様書」の当該項目、 ○ 「 ] 内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。	(16) 石綿含有建材の調査	証明のためのが(小*うイン)(林野庁)に準拠した証明書を監督員に提出する。  調査 ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 貸与資料(石綿含有建材調査結果報告書)  工事対象の建材が貸借する石綿含有建材調査結果報告書から有無を判断できない、もしくは石綿みなしと設計図書より読み取れない場合は協議とする。	·) 一般共通事項	<ul> <li>・埼玉県建築工事に伴う災害、公害及び事故防止対策要領</li> <li>・建設副産物の手引き(埼玉県建設副産物対策協議会)</li> <li>・建設副産物適正処理推進要綱</li> <li>・建設工事に伴う騒音振動対策技術指針</li> <li>・埼玉県建築工事実務要覧</li> <li>・地盤変動影響調査算定要領</li> <li>・</li> </ul>
	改修対象(設備)浜川戸作業所棟 S造 1階(地下 0階) 5 7 ㎡	による特定調達品目 するよう努めるもの なお、 <b>G</b> 印は設計	目のうち、「判断基準」を満たす環境物品等(以下「特定調達物品等」という)を選択 りとする。 †図書で定めのある品目を示す。	① 技能士	アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、 クロシドライト、トレモライト [1. 6. 2] {1. 3. 3}	2   ) 届出手続き等	※「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(以下、「建設リサイクル法」 という。)第11条の規定による通知書を作成し、監督員に提出すること。 ※上記通知書の各事項(変更がある場合は、変更後の内容)について、下請業者に
### DESCRIPTION OF THE PROPERTY OF THE PROPERY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY			後書及び標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。 		職種     適用技能士       とび     ・)とび作業       鉄筋施工     ・)鉄筋組立作業       型枠施工     ・)型枠工事作業       コンクリート圧送施工     ・)コンクリート圧送工事作業	T	※廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条第1項の規定 により、監督員に書面で報告するとともに、再資源化等の実施状況に関して記録
Company   Comp	敷地内進入防止用仮設フェンス新設	1 ① 適用基準等 一 般 世	※建築工事監理指針(国土交通省監修)(参考図書) ※建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 最新版) なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、		プロック建築       ・コンクリートプロック工事作業         エーエルシーハ°ネル施工       ・エーエルシーハ°ネル工事作業         石材施工       ・石張り作業         タイル張り       ・タイル張り作業         建築大工       ・大工工事作業	②工事の記録等	※その他、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行う。 工事写真は、着工前、各工程における作業状況、解体材の分別状況、完了時 <1.2.3> について、「春日部市建築工事写真作成要領」を参考に監督員と協議し、監督員の
### 1/2/14/20   Part		- 事 項 1 (3) 工事実績情報システム	※法定外の労災保険 (工事に従事する者(全ての下請負人を含む)の業務上の負傷等を対象とするもの) ※建設工事保険等 (工事目的物及び工事材料等を対象とするもの) ※請負業者賠償責任保険等 保険の期間 ※工事完成期日後14日を含む期間 ・		左官	D 施工管理	9 る。 ※現場代理人は現場に常駐し、現場の運営、取締りを行う。 <1.3.1>
### 1			建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。		・アクリルゴム系塗膜防水工事作業・合成ゴム系シート防水工事作業・塩化ビニル系シート防水工事作業・セメント系防水工事作業・シーリング防水工事作業・プーリング防水工事作業・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業・改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業	○ 引き渡しを要するもの	名称
### 1987 1986 1986 1986 1986 1986 1986 1986 1986		(施設管理の別契約)	※工事中に施設管理委託者が工事エリア内の立ち入りが必要な場合、 [1.1.7] 本工事工程と日程の調整する。		内装仕上げ施工 ・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上作業 ・木質系床仕上げ工事作業 ・鋼製下地工事作業		
### 1995 #			及び施工に当たっては関係法令等の遵守に十分注意する。		・ボード仕上げ工事作業         ・化粧フィルム工事作業           断熱絶縁施工         ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱工事作業         ・保温保冷工事作業           表装         ・壁装作業		
日本では、		⑦ 工事の記録	埼玉県電子納品運用ガイドライン ※適用する(CD-R又はDVD-Rで1部提出)	18 化学物質の濃度測定	その他	田角資源化等完了の	「建設副産物の手引き」等を遵守し、建設廃棄物の再資源化等を推進すること。 廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条第1項の規定により、監督員に書面で報告するとともに、再資源化等の実施状況に関して記録を作成し保存すること。なお、塩ビライニング鋼管は継ぎ手リサイクル依頼伝票を、塩ビ管は
		(9) 施工条件	施工時間 (1.3.5)[1.3.5] (・)行政機関の休日に関する法律(S63第91号)に定める行政機関の休日以外とする。		ホルムアルデヒト 100μg/m³ (0.08ppm) 以下 ※厚生労働省トルエン 260μg/m³ (0.07ppm) 以下 が定める指針キシレン 200μg/m³ (0.05ppm) 以下 値,量単位のエチルベンゼン 3,800μg/m³ (0.88ppm) 以下 換算は25℃スチレン 220μg/m³ (0.05ppm) 以下	() 廃棄物の処理	※「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)」を遵守し、マニフェストシステムにより適正に処理すること。 ※過積載等の違法運行の防止を図るとともに、道路交通法遵守を下請業者に徹底する
5. 工 期 担当			※公告に別に添付する<埼玉県営繕工事における「週休2日制モデル工事」特記		測定方法 採取及び分析は、法令に基づき空気中の物質の濃度に係る証明を行う者が行う。 ①検体の採取方法 ※吸引方式(アクティブ法)又は拡散方式(パッシブ法) ・吸引方式(アクティブ法) ・拡散方式(パッシブ法) ②アクティブ法 ホルムアルデヒドは、ジニトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着/溶媒	③ 環境・安全対策	※工事の施工にあたり、騒音、振動、ほこりの発生、土壌汚染、排水汚染などがない
6 工事報酬 すべて   電報日 すべて   電報日本する。 また、本「事の目前を直送するために選挙の使くされる機能、 原用として特別である。 (1.3.7)   ② 余年4の必要を検験   ② 第二十の変を検験   ② 第二十の変を使め   ○ 第二十の変を使め	主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間       担当者と協議による         現場代理人の現場への常駐を要しない期間       担当者と協議による         現場施工期間       担当者と協議による		施工時間以外の施工条件		法によって採取し、高速液体クロマトグラフ法(以下HPLC)により行う。 トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、 固相吸着/溶媒抽出法、固相吸着/加熱脱着法、容器採取法のいずれかを用いて 採取し、ガスクロマトグラフ/質量分析法(以下GC/MS)により行う。 ③パッシブ法 ホルムアルデヒドは、パッシブ採取機器により採取し、HPLC又はガスクロマトグラフ法(以下GC)あるいはAHMT-吸光光度法のうち採取機器に適応した分析法による。		9 る。 ※工事施工中、騒音計及び振動計を近隣(近隣住民・通行人等)が確認出来る位置に 設置する。
(注) 別生材のうち特別により、別き波しき要するものは、指示された場所に整理 のうる講像と派先で整要の関連ないできた。	※「3.工事種目」すべてを工事範囲とする。	① 環境保全等	建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。 [1. 3. 11] 引渡しを要するもの [1. 3. 12] {1. 1. 12}	19 中間検査	パッシブ採取機器により採取しGCまたはGC/MSのうち採取機器に適応した 分析法による。 測定対象室 ・監督員の指定する室( 室) ・図示 測定箇所数 ※( )・図示 測定時期 ※工事着手前及び完了後 報告書 ※2部 ・		
②			注 a) 発生材のうち特記により、引き渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調書を添えて監督員に報告する。 b) 産業廃棄物処理許可書及び最終処理受入票の写しを提出する。 c) 引き渡しを要しないものは、すべて構外に搬出し、「資源の有効な利用の促進に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(以下「建設リサイクル法」という。)「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」そ	② 完成図等	[1.8.1~3] {1.6.1~3} 監督員の指示により埼玉県建築工事監督要綱別表第1に示す書類を原則電子データ で提出する。		
性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。         ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、			埼玉県内に本店を有する者の中から選定するように努めるとともに、調達する 工事材料は、埼玉県産とするよう努める。				
材料を使用する。		(14) 環境への配慮	性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない		埼玉県建築工事図面情報電子化媒体作成要領による。 CADデータのバージョンは監督員と協議する。 JWWのフォルダ内に環境設定ファイル(JWF)を保存すること。 印刷設定ファイル等の印刷に必要なファイルを保存すること。 PDFは1ファイルとして保存すること。 メーカーリスト 1部		
等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、 ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が 極めて少ない材料を使用したものとする。			材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑剤(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が		保全に関する資料 1部 (通常取扱いに注意を要するものの使用方法を解説する) 完成写真 (春日部市建築工事写真作成要領に基づき作成する) 工事写真帳の一部として添付する 原本(電子媒体:撮影時のJPEG)を各1部提出		
────────────────────────────────────				消防本		8. 29 西部第	——————————————————————————————————————

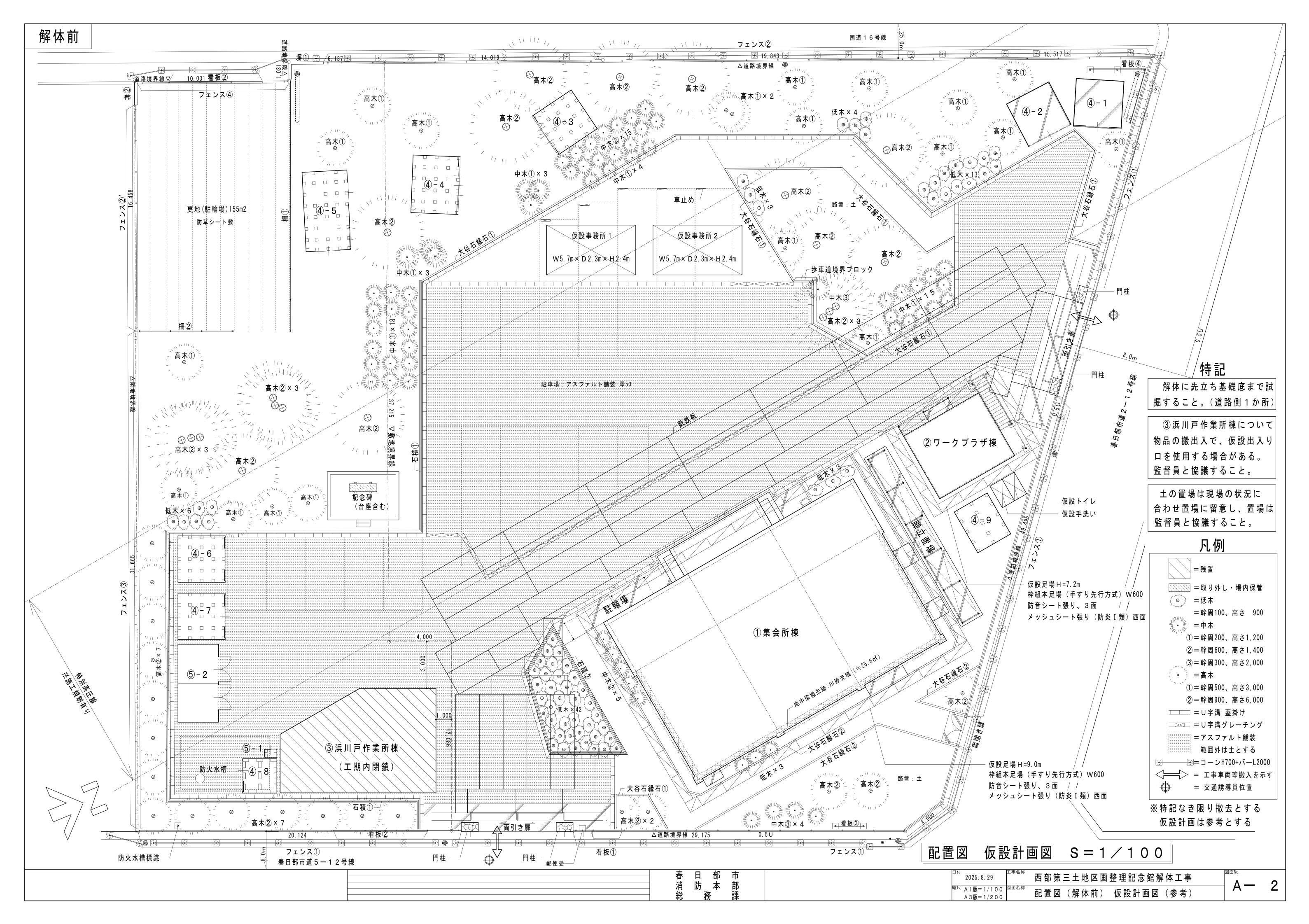
【1】 ○ 情報共有システム	本工事は「春日部市営繕工事情報共有システム実施要領」に基づく、情報共有シス		汚水、汚物等の回収、洗浄、消毒等の措置 〈3.2.1〉 (4			{1. 1. 12}	1 施工調査	※特別管理産業廃棄物の調査を次により行う。	<5. 1. 2>
_   般   #	テム(以下「システム」という。)利用対象工事である。受注希望型でシステムを利用しない場合は、監督職員と協議すること。 なお、システムで取り扱う工事関係書類は「情報共有システム対象書類一覧表」のとおりとする。	解 体 ② 杭の解体 施	①行う       ・行わない         杭の解体工法       <3.9.2>         ②引抜き工法(引抜いた杭の処理 ※現場破砕 ・破砕施設搬入 ・図示)       腐		※受注者は、「資源の有効な利用の促進に関する法 基づき、次の対象工事について、工事着手前に本 計画書」及び「工事登録証明書」を建設副産物情報 により作成し、施工計画書に含め各1部提出する。	工事に係る「再生資源利用[促進]   代報交換システム(COBRIS)   別。	É    }  }	(1)特別管理産業廃棄物の使用状況について、設計 製造年、型式、種類、数量等を調査する。 (2)特別管理産業廃棄物に応じた、収集運搬業者、 物処理施設、処分条件等を調査する。	処分業者、回収業者、産業廃棄
_	○発注者指定型 / ○電子媒体納品 · 遠隔臨場	エ	・破砕工法         杭撤去跡の充填       東         ・立填材料       ・山砂 ・流動化処理土 ・セメントミルク ・       物	5 ₹ ☑	また、工事完成後速やかに計画の実施状況(実績) 進]実施書」及び「工事登録証明書」を同システム ともに、これらの記録を保存する。	)について、「再生資源利用[促   理 により作成し、各1部提出すると   <b>理</b>   <b>産</b>		(3)調査結果は調書にとりまとめ、監督員に提出す 調査範囲 (①本工事施工範囲 ・図示	る。 )
· 項 · 3	・受注者希望型 \ ・紙媒体納品 ・発注者用通信機器 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /		配合計画 ※監督員との協議による · 杭位置の測量 · 行う (測量する杭 · 全て · 図示 · 監督員との協議による)   2.	<u>.</u>	(a) 再生資源利用計画書(実施書)の作成対象工事 (1) 500m <sup>3</sup> 以上の土砂を搬入する工事	(下記のいずれかに該当する工事) 常 原	金 ② 分析調査	貸与資料(PCB含有建材調査結果報告書	,
・設計協力メーカーリスト	本工事を設計する上で、協力したメーカー名は以下のとおり。(企業名順不同) 本工事で採用するメーカーを指定するものではない。仕様書に表示されている性能が ある製品を発注者が承諾することにより、採用される。	K T ③ 屋外設備等	※行わない       理柱の撤去 ・行う(※図示 ・ ) ・行わない       <3.10.1>         外灯の撤去 ・行う(※図示 ・ ) ・行わない       フェンス等工作物の撤去 ・行う(※図示 ・ ) ・行わない	Ĕ	(2) 500 t 以上の砕石を搬入する工事 (3) 200 t 以上の加熱アスファルト混合物を打 (4) 最終工事請負金額が100万円以上の工事 (計画書については、当初工事請負金額が	12		分析調査を行う特別管理 産業廃棄物等の種類 ・PCB 含有シーリング 部 位 ・図示 ・ 分析調査(第一次判定) 箇所数:	数 備 考
	外構工事 境界フェンス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 樹木等	対		(b) 再生資源利用促進計画書(実施書)の作成対象 工事) (1) 500m <sup>3</sup> 以上の建設発生土を搬出する工事	坦		・PCB 含有シーリング部 位 ・図示 ・分析調査(第二次判定)箇所数: 箇所	
		(5) 地下埋設物·埋設配管			<ul><li>(2) アスファルト・コンクリート塊、コンク合計で200 t 以上搬出する工事</li><li>(3) 最終工事請負金額が100万円以上の工事</li></ul>	リート塊、及び建設発生木材の		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
			※地中埋設管(給水、排水、ガス等)については、監督員の指示による。 ※プラグ止等の措置をする ・全て撤去する ※官公庁への申請手続きは本工事の範囲とする。	② 再資源化等	(計画書については、当初工事請負金額:	<4. 4. 1> K		○PCB含有シーリング分析調査 ・監督員と協議 ・ ○調査済(不含有)	<5. 4. 1>
・ 指定メーカー・施工者 管理者リスト	本工事で指定材料になるもの、指定施工者は以下のとおり。 機械警備 委託先 セコム㈱ (契約解除済)	6 設備機器等	解体事前処理(油類タンク) ・機械設備図による。	(再資源化及び縮減)	建設廃棄物の種類 ○コンクリート ○コンクリート及び鉄から成る		2	PCBを含む機器の微量PCBの分析調査     安定器等は春日部市にて処分済み	<5. 4. 1>
	電話·通信設備 委託先 NTT (契約解除済)		・解体に先立ち、燃料配管、燃料槽、燃料小出槽等に残油がないことを確認する。 必要に応じて残油を抜き取り、燃料を土壌に流失させないように注意する。 ・燃料槽、燃料小出槽は、洗浄のうえ中和処理を行う。		<ul><li>建設資材</li><li>○木材</li><li>○アスファルトコンクリート</li></ul>			・絶縁油のPCB含有量の分析調査 「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係 又は「絶縁油中の微量PCBに関する簡易測定法マ	
			解体事前処理(冷媒) - ・冷媒を屋外機にポンプダウンした撤去を行う機器は下記による。 - 図面番号 記号		○金属類       ○建設泥土       ○小形二次電池			行う。 ・ダイオキシン類のサンプリング調査 ・廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類暴	<5.4.1> 露防止対策要綱」により行う。
					<ul><li>○蛍光ランプ及びHIDランプ</li><li>○硬質ポリ塩化ビニル管及び継手</li></ul>		3 特別管理産業廃棄物	・ 元未	(5. 4. 1)
					<ul><li>①ガラス</li><li>∴ 木材(縮減)</li></ul>		の処理	ー 特別管理産業廃棄物の種類 ・廃石綿等	備考
					中間処理施設又は再資源化施設の別 ・監督員と協議 ・			<ul><li>・PCBを含む機器類</li><li>・PCB含有シーリング材</li><li>・廃油</li></ul>	
② ① 騒音・粉じん等の 対策 仮 設 ② 足場等				3 再資源化し、現場で 利用する建設廃棄物	廃棄物の種類数	(4. 4. 1) 量 備 考		<u>・廃</u> 機/廃アルカリ ・ダイオキシン類	
設   <sup>(2) 足場等</sup>   工     <b>事</b>	[2.2.1][表2.2.1] 〈2.2.2〉 「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における2の(1)手すり据置き方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行う。	⑦ 解体後の整地	解体後の埋戻し及び盛土 {1. 2. 2} <3. 13. 1>					処理施設	
- 	外部足場 ○設置する(設置範囲 ○図示 · ) ·設置しない 防護シート等 ○設置する(設置範囲 ○図示 · ) ·設置しない 内部足場 ○設置する(※脚立、足場板等 · 図示 ) ·設置しない		埋戻し及び盛土の材料 ○山砂の類 ○現場の建設発生土の中の良質土 ・再生コンクリート砂 埋戻し及び盛土に当たっては、各層30cm程度毎に締め固めること。 ・行わない	4 産業廃棄物広域認定 制度の活用	 		4 PCBを含む機器類	・監督員と協議 引渡しを要する機器類	<5. 4. 1>
K S	│ 材料、撤去材等の運搬方法 │		表層の砂利敷き (22.9.2) ※行わない				5 PCB含有シーリング材	除去処理工事 除去範囲 ※図示	<5. 4. 1>
	□ D種:利用可能な階段 (・図示 ①打合せによる) 「墜落制止用器具の使用は、「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」 (厚生労働省)による。	⑧ 解体後の柵の設置	・行う(・砂利敷き B種 ・ ) する(解体後、監督員の指示に従い、敷地内に進入できないよう柵、立入禁止の	5 最終処分		<4. 4. 3>		撤去方法・「標準施工要領書(日本シーリング工 シーリング材工業会)」による。 廃棄物の焼却施設の解体	事業協同組合連合会/日本 <5.4.1>
	(厚生ガ劇者)による。 ○フルハーネス型墜落制止用器具を用いる。 幅が1メートル以上の箇所において足場を使用するときは、原則として本足場を	9 解体工事全般	表示板等を設置する。)  ①工事の施工にあたり、騒音・振動については万全の対策を講じること。  ①コンクリートガラ運搬については、現地破砕を削減し、なるべく大ガラにて運搬し		<u>廃棄物の種類</u> 	備 考	6 ダイオキシン類	展集物の焼却施設の解体   解体方法   ・   処分方法	<b>\5.4.1</b> /
(3) 既存部分の養生	使用する. (労働安全衛生規則第561条の2) [2.3.1]		処理施設にて受入れる廃棄規模に応じ破砕等を行うこと。 ・		最終処分場				
	既存部分養生の方法(※ビニルシート、合板等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		建設発生土について	⑥ 処理に注意を要する	・監督員と協議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<4. <u>5. 1</u> >			
	既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一 損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。		○場外搬出適切処理(搬出場所: 自由処分 )	建設廃棄物	<ul><li>廃棄物の種類</li><li>○石綿含有せっこうボード</li><li>・ひ素・カドミウム含有せっこうボード</li></ul>				
   4 仮設間仕切り   5 監督員事務所					<ul><li>○上記以外のせっこうボード</li><li>・CCA処理木材</li></ul>				
6 現場表示板	[2.4.1]{1.1.12} <2.3.1> ※設置する({1.1.12}による表示 ・要 ○不要) ・設置しない				_ · _ · · · · _ · _ · _ · · _ ·				
7 工事用水	構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償 ・無償)			7 舗装版切断時に発生する濁水の処理		諾を得るものとする。			
8 工事用電力	構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(別途施設調整を行うこと)				種類 汚泥 (共通事項)				
9 工事用搬入路 10 仮囲い	※図示・ ※設置位置等は監督員の指示による・図示 <2.2.2> 図示の有無に関わらず、監督員と協議の上、必要に応じ適切に配置し的確に対応する				1 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可に回収した濁水を産業廃棄物の汚泥として中間処理 2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている を締結しなければならないものとする。	施設に運搬及び処理するものとする			
(11) 交通誘導員	図がの有無に関わらり、監督員と協議の工、必要に応じ過りに配置し的権に対応する こと。 必要に応じ搬入路付近に交通誘導員を配置する。				3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなけれ 4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃	いばならないものとする。			
12 快適トイレ	配置箇所 (※監督員の指示による ・図示				律において定める産業廃棄物管理票(以下「マニュン ものとする。 (提出書類等)	フェスト」 という。)により管理する			
_					1 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運なければならないものとする。また、中間処理業 委託契約書の写し及び許可証の写しを添付するこ	美者及び収集運搬業者と締結した こと。			
K A 仮設物 T	仮設物の位置・仕様・車両の進入方法等、施設内の車両の通行路について、 <2.3.1> 施工前に必ず監督員、施設管理者と協議すること。				2 受注者は、工事完成後速やかにマニュフェストの写しを! いものとする。	監督員に提出しなければならな			
B 火元責任者 (C) 仮設物	火災防止に配慮し、火元責任者を配すること。				(その他) 受注者は、バキューム式以外の工法(舗装版切断時 る場合においては、事前に発注者と協議するものと				
	仮設物の位置・仕様・車両の進入方法等、施設内の車両の通行路について、 <2.3.1> 施工前に必ず監督員、施設管理者と協議すること。								
○ その他	<ul> <li>○仮囲い等は現場の状況に合わせて適宜計画すること。</li> <li>○ゲート等の位置は監督員と協議のうえ、必要に応じて適切な位置に移動すること。</li> <li>○仮設材の位置・仕様・車両の通行路と進入方法等について、施工前に必ず監督員と協議すること。</li> <li>○近隣や施設の行事予定を把握し、工事車両の入場計画を立てること。</li> </ul>								
S ① 指定仮設	本工事で設置する施設使用者用の指定仮設は以下のとおりとする。								
T   - 	仮設の種類     数量     備考       仮囲い(買取)     ()								
	<ul><li></li></ul>								
	位直、設直时期寺にプいては参与収設図を基に加工計画者へ記載し、監督員の承諾を 得ること。			<b>英</b> ロ 並	<u>+</u>	旧付	工事名称	— 1 1.6 — — ±6 -— - A A += -1	図面No.
				春 日 部 消 防 本	部	縮尺		三土地区画整理記念館解体工事事特記仕様書2	──

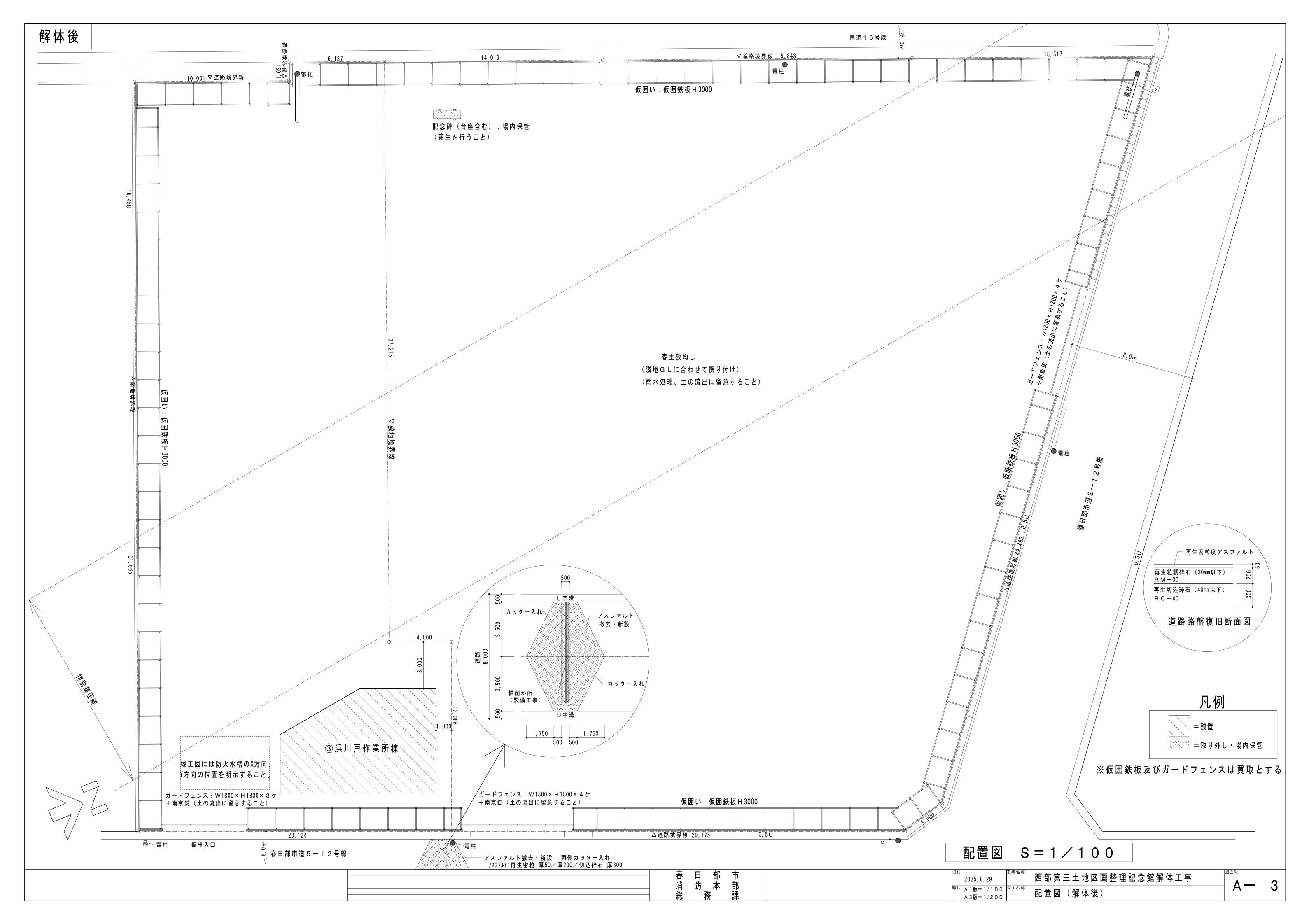
6 ① 石綿含有建材の 事前調査 石綿含有建材の	石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督員に報告する。 調査範囲 (○本工事施工範囲 ・図示 ) 貸与資料(石綿含有建材調査結果報告書 ) 設計書に記載がない場合、「みなし」として報告、施工する。		分析調査を行う特殊な   採取する部位・箇所数   備 考   建設副産物の種類   部 位 ・図示 ・		鉄筋の種類 (5.2.1) 種類の記号 呼び径(mm) 備考  (SD295 ※ D16以下 ・ SD345 ※ D19以上 ・ .	② セメント	種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 適用箇所(※下記以外全て ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
所の除 去 み び 処 理 K T	分析による石綿含有建材の調査       <1.4.1>         分析対象         アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト        分析方法         分析方法       定性分析方法       定量分析方法         材料名       JIS A 1481-1 JIS A 1481-2 JIS A 1481-3 JIS A 1481-4         ・アスファルト防水(屋根)       ※ 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所         ・ 次、 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所       ※ 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所         ・ 適所 ・ 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所       ※ 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所	E 77 (2) 回収及び処分 L 2 回収及び処分	<ul> <li>箇所数: 箇所</li> <li>⟨7.</li> <li>回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類</li> <li>・ プロン(冷媒)</li> <li>・ 建材用断熱材フロン</li> <li>・ ハロン</li> <li>・ イオン化式感知器</li> <li>・ 六ふっ化硫黄(SF6) ガス</li> <li>・ PFOS (ペルフルオロ (オクタン-1-スルホン酸))</li> <li>・ 特定化学物質( )</li> </ul>	S 3 鉄筋の継手 3.1>   S	鉄筋の継手方法等	<ul><li>③ 骨材</li><li>④ 混和材料</li><li>⑤ 打継ぎの位置、 ひび割れ誘発目地、 打継ぎ目地</li></ul>	・ アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ※A ・B (コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m³ 以下) (6.3.1) 混和剤 (6.3.1) 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による・ ①混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による・ 打継ぎの位置 (6.6.4) 深及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近
	サンプル数 1 箇所あたり 3 サンプル 吹付け材及び保温材等は ※ 1 0 cm³ /箇所 · /箇所 とする。 成形板は ※1 0 0 cm² /箇所 · /箇所 とする。 採取箇所 · 図示 分析結果については監督員に提出すること。    測定時期、場所及び測定点	3	・ その他の特殊な建設副産物( )回収又は処分 ・機械設備図による ・ 冷媒管の撤去に当たっては、すべてのフロンガスを回収し下記の方法で処理 ※破壊プラント搬入 ・フロン再生後引き渡し ・未再生引き渡し 「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」に基づき処理する	(4)鉄筋の定着 	<ul> <li>※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)3(1)(ウ))・図示による( )・</li> <li>柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一箇所に設ける部分の位置及び施工方法等・図示による( )・</li> <li>鉄筋の定着長さ (5.3.4)</li> <li>・図示による( )</li> <li>機械式定着工法 運用場所・図示による( )・</li> <li>種類・摩擦圧接接合・螺合グラウト固定・飯合グラウト固定・飯合グラウト固定・</li> <li>工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法とする</li> </ul>	6 湿潤養生	・図示による( ) ・ 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による( ) ・ 目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) ・標準仕様書 9.7.3(1)(7)による ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・図示による( ) ・協議による ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 ・図示による( ) ・協議による
	・ ・ 別定3       処理作業室内       ( )点         ※ ・ 別定5       処理作業中       塩キュリティーソ・一ン入口       ・各1点 ・( )点         集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)       ・各1点 ・( )点         ※ ・ 別定6       施工区画周辺又は敷地境界・4方向各1点 ・( )点         ※ ※ 別定7       処理作業後(隔離シト協去前)       ・( )点         ※ ※ ・ 別定8       施工区画周辺又は敷地境界・4方向各1点 ・( )点         施工区画周辺又は敷地境界・4方向各1点 ・( )点       ・( )点         施工区画周辺又は敷地境界・4方向各1点 ・( )点       ・( )点         施工区画周辺又は敷地境界・カームを対象は消息・シートを対象は消息・シートを対象は消息・シートを対象は消息・シートを対象は消息・シートを対象は消息・シートを対象は消息・シートを対象は消息・シートを対象は消息・シートを対象は対象は消息・シートを対象は対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対			(5) 鉄筋のかぶり厚さ	必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強筋形状 ※評定等の評価内容による かぶり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 横査 ※評定等の評価内容による 構造関係共通図(配筋標準図)による。これによらない箇所は図示による。	7 コンクリートの仕上り	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6. 2. 5) (6. 8. 2)  種 別
4 石綿含有吹付け材 の除去(レベル1)	測定方法 ・自動測定器による測定 測定4,5 ※パーティクルカウンター、粉じん相対温度計(デジタル粉じん計)、繊維状粒子自動計測器 (リアルタイムファイバーモニター)等、排気の粉じん濃度を迅速に計測できる機器にて測定 ・JIS K 3850-1に基づいた測定    別定4,5   測定   測定   メンプ・レンフィルタの直径(mm)   25   47   47   47   10   10   10   10   11   11   11   1	(1) 解体工事全般 (1) 解体工事全般 (2)	・基礎解体にあたっては、解体後の新築等次工事の支持地盤を荒らさないよう慎重施工すること。     ・大型レッカーを使用する場合は、必要な地耐力が得られるよう必要な養生を行うで、工事中に破損した存置構造物、境界標等は必ず現状復旧すること。	及び間隔 (溶接金網含む) Eに こと。 6 各部配筋 7 ガス圧接	展示がふり厚さ (自地底がら昇出を行う) ※図示による (構造関係共通図(配筋標準図)4(1)表4.1) ・図示による (  柱及び梁の主筋にD29以上の使用 ・あり 適用箇所( ・あり 適用箇所( ・あり 適用箇所( ・あり 適用箇所( ・あり 適用箇所( ・表小かぶり厚さに加える厚さ ( )mm ・ ※図示による (5.3.7)	(打放し仕上げ部)	・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm ・20mm ・ 打増し範囲 ・図示による( )  せき板の材料及び厚さ (6.8.2) ○合板(※12mm ・ ) G コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。
5 石綿含有保温材等の除去(レベル2)	除去対象範囲 ・図示 ・	(1) 埋戻し及び盛土	世戻し及び盛土の種別 ・A種 適用場所( 外構 ) ・B種 適用場所( ) ・C種 適用場所( ) ・D種 適用場所( ) 品質 細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする。	9 溶接継手2.3)		10 軽量コンクリート	スリーブの材種・規格等 ・図示による( ) ・ 存置期間及び取外し (6.8.4) ※標準仕様書6.8.4による ・普通エコセメントの場合(※図示による( ) ・ )
仕上塗材等の除去 (レベル3) 8 リフラクトリー セラミックファ イバーの処理	着工前の試験施工 ・行う ○行わない 除去工法 ( ) 除去した石綿含有建築用仕上塗材等の飛散防止 ※密封処理 ※湿潤化 ・セメント固化 除去した石綿含有建築用仕上塗材等の処分 ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)  除去処理対象物 ・ 除去対象範囲 ・図示 ・ 除去方法 ・図示 ・ 処分 ・埋立処分 (安定型最終処分場) ・	3 山留めの撤去	<ul><li>○行わない(搬入先からの未検出証明書を提出する)</li><li>・場外搬出適切処理 ・構内指示の場所にたい積 ○構内指示の場所に敷き均し (3.2)</li><li>鋼矢板等の抜き跡 ※地盤の変形を防止する適切な措置を講ずる (3.3)</li></ul>			(11) 寒中コンクリート (12) 暑中コンクリート 13 マスコンクリート	<ul> <li>適用期間(11月9日~3月2日)</li> <li>構造体強度補正値(S)を積算温度を基に定める場合・図示による( )、S=(6)・</li> <li>適用期間(7月11日~9月10日)</li> <li>構造体強度補正値(S) ※6N/mm²・図示による( )、S=( )・</li> <li>適用箇所・図示による( )・</li> <li>セメントの種類・普通ポールトラント・セメントの種類・普通ポールトラント・セメントB種・フライアッシュセメントB種・シリカセメント</li> <li>混和材料の適用</li> </ul>
(9) その他	○近隣説明及び諸官庁への届出は受注者が行い、事前に監督員と協議をすること。			<ul><li>(b) ① コンクリート の種類等</li></ul>	類別 (6. 2. 1) ※I 類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート)	14 無筋コンクリート 15 コンクリートの 単位水量測定	・あり(・標準仕様書6.13.2(2)(7)による ・標準仕様書6.13.2(2)(4)による ・
				コンクリート工事 KS	<ul> <li>※ 1 類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンケリート)</li> <li>普通コンクリート (6.2.1~6.2.4)</li> <li>設計基準強度 (N/mm²) 質量 (t/m³) スランプ 適用 箇所</li> <li>①24 2.3程度 · 15又は18 (①18</li> <li>· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·</li></ul>		(2)単位水量の上限値は、標準仕様書の、3.2(1)(C)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m³の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m³以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m³を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m³以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4)単位水量管理についての記録を書面(計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17メータ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。
				春日   日     消防   本     総務	2020.0.1	図面名称	三土地区画整理記念館解体工事 共通-03



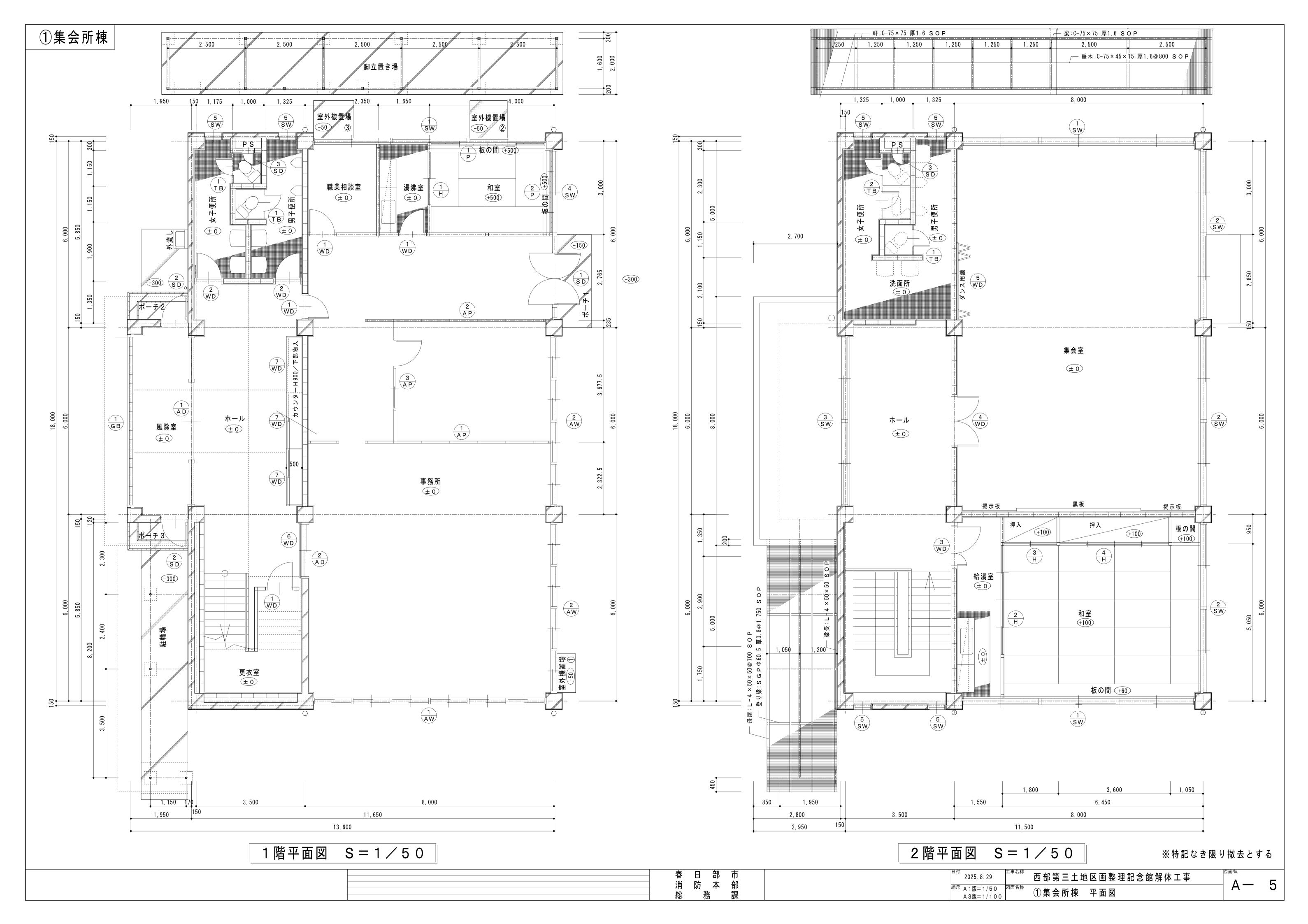
案 内 図

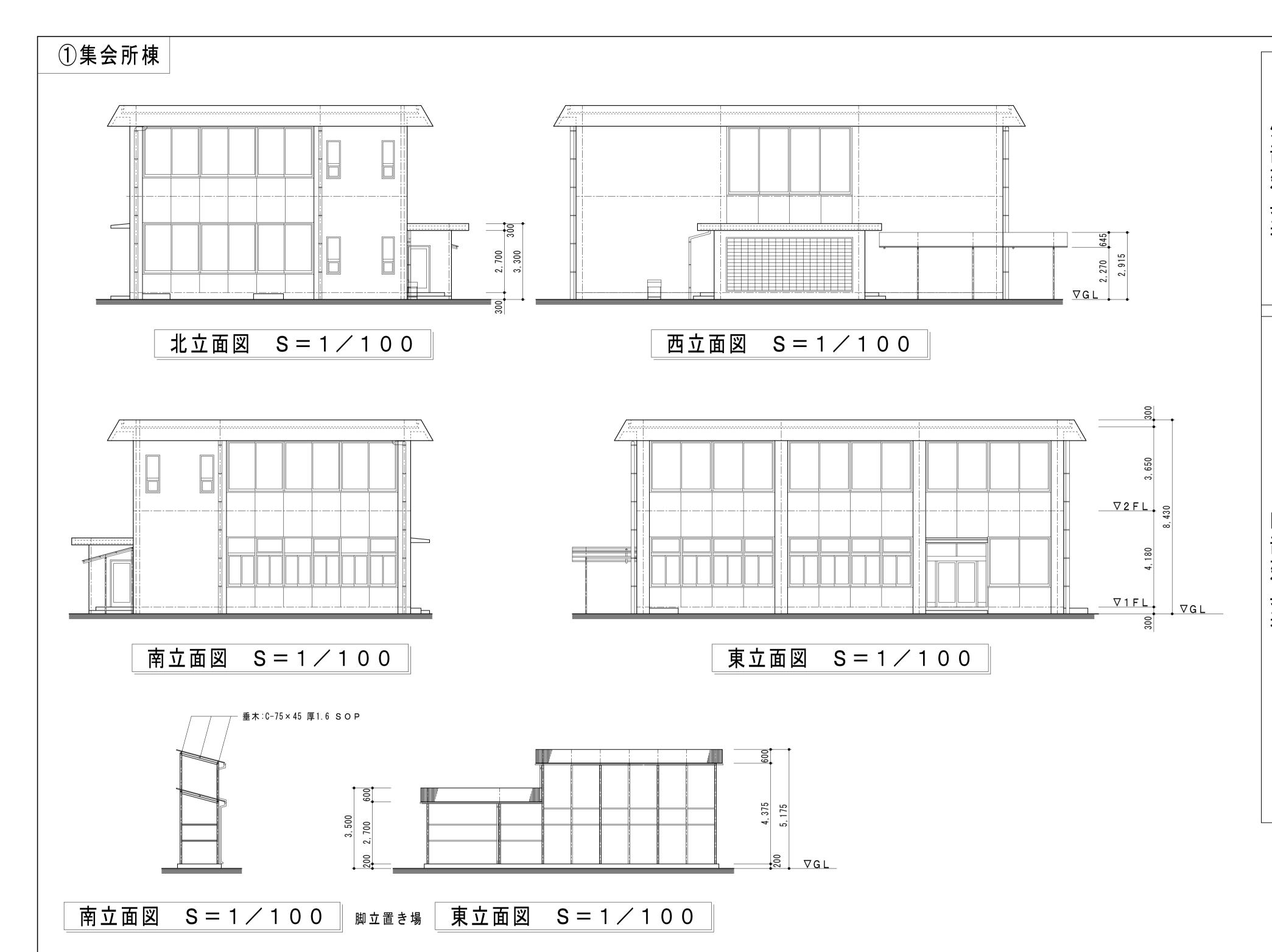
A- 1

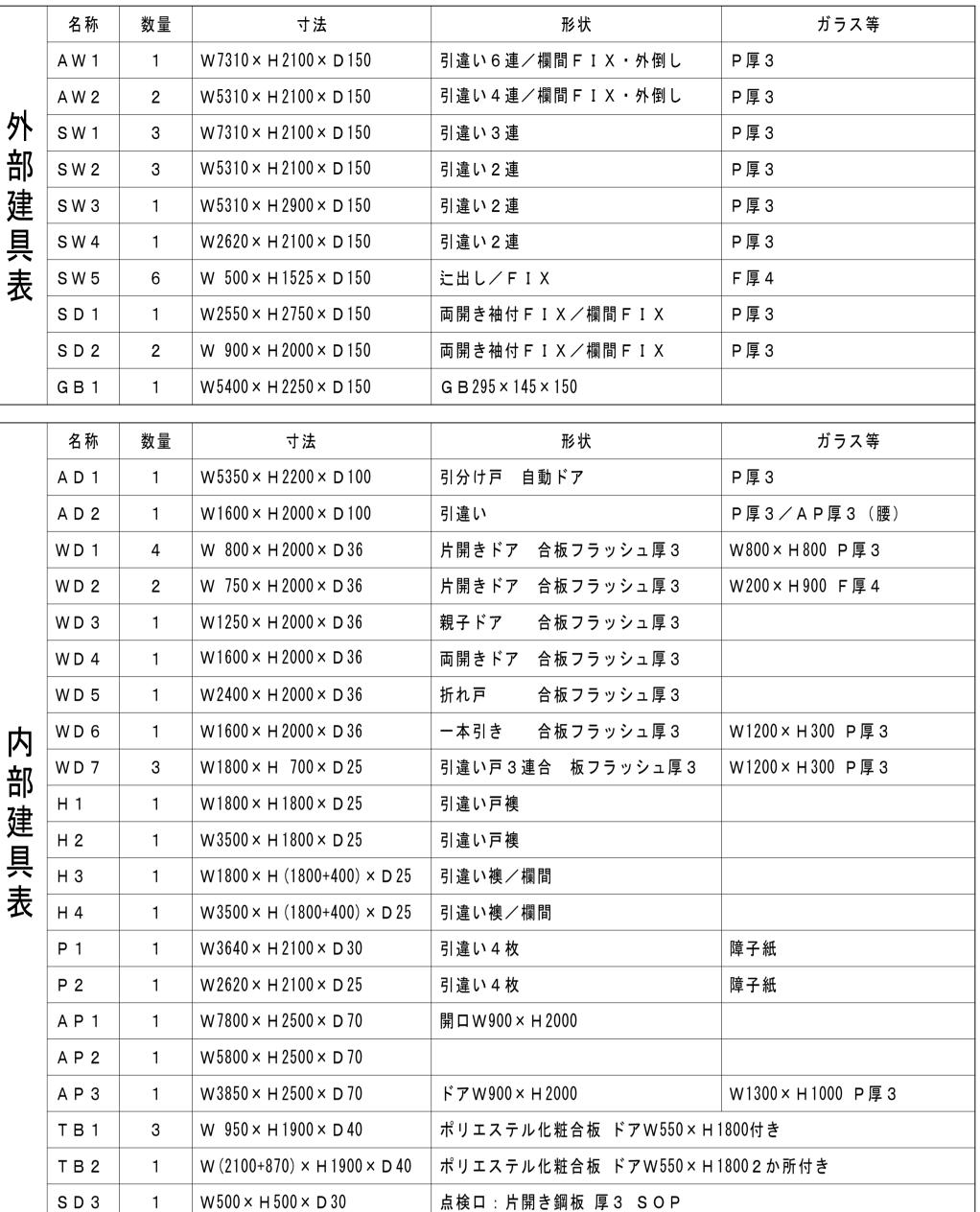


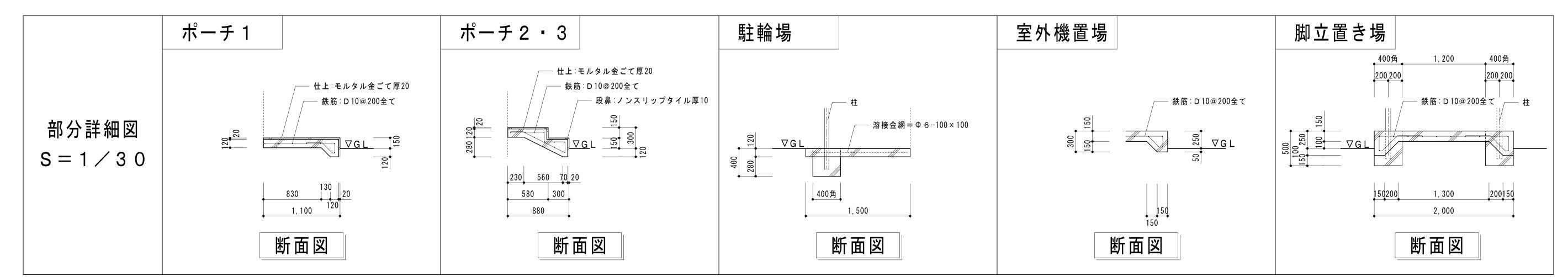


					仕	上表	※特記な	き限り撤去とする				
	名称	仕上		名称	仕上		駐輪場			脚立置き	き場	
   屋     小部	根・下屋	アスファルト防水下地 シンダーコンクリート厚60金ごての上	、塗膜防水	外 幅 木 樹脂モルタル塗り			屋 根 付属建物	屋根:ポリカーボネート厚	夏0. 7葺き	屋	根 スレート波板 厚6.3葺き	
	ラペット	コンクリート下地モルタル厚20 AER		建具廻シーリング 変成シリコーン系 (MS-2) 15×	× 10	*	柱	鉄骨75×75×2.3(胴縁C-7	$75 \times 45 \times 15 \times 2.3$ ) SOP	柱	柱:SGPФ60.5 厚3.8 SC	O P
外	壁	コンクリート下地モルタル厚20 AER		樋 縦:VPΦ145(下屋:Φ75)			基礎	コンクリートW600×D600	0×H550	基	礎 基礎:コンクリートW600×[	O 600 × H 550
階	室名	床	幅木	壁	天井		廻縁	СН	備考			その他
風	     <b>                                  </b>	モルタル金ごて厚20目地切り		フ★ モルタル金ごて厚20 EP	アルミ厚1 スパンドレル		アルミ厚1 10×1	0 2, 400				ス製 厚1 W750×D450×H850
		 モルタル金ごて厚20目地切り	(黒色) H100	/	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							厚300 ① W1250×D 600×H250 ② W1200×D1200×H250
ホ-	ール		(黒色) H100					3, 000				③ W1300 × D1200 × H250
事	経 室 📗	モルタル金ごて厚20下地 ビニル床シート厚 2	木製 厚15 H=100	モルタル金ごて厚20 EP   一部しな合板 厚6目透し張り EP	化粧有孔せっこうボード厚9引	長り		3,000 パーテーション	:アルミ製H850		がたし田原温せ、	グラスウール厚100
44.		モルタル金ごて厚20下地	同上	しな合板 厚6目透し張り EP	 フレキシブルボード 厚3目透	し張り EF	P *	2.400 流し台: 既製品	W2350 × D 600 × H 850		   給排水保温材 :	
給;		モザイクタイル厚 5		一部W2400×H900 タイル厚5貼り				_   「	W2350 × D 350 × H 900		小屋裏断熱材:	木毛セメント板 厚25
1 和	室	木組み 杉板 厚15下地畳 厚60 縁甲板 厚15	畳寄せ 杉15×15	ラスボード厚7 モルタル厚15下地   ビニルクロス張り	せっこうボード 厚9目透し張	り E P	木製30×30 OS≧	塗り 2,400 │外部建具:内障	子付			
台上	<b>学 扣 钬 宏</b>	モルタル金ごて厚20下地 ビニル床シート厚 2	木製 厚15	しな合板 厚6目透し張り EP	せっこうボード 厚9目透し張	りEP		3, 000			   天井下地:木製 3	0 × 40 @ 303
			H=100	一部モルタル金ごて厚20 E P				3,000				0 × 40@910
更	<b>で 室</b>	モルタル金ごて厚20下地 ビニル床シート厚 2	M D F H=60	しな合板 厚6目透し張り EP モルタル金ごて厚20 EP	モルタル金ごて厚20 EP			2, 000				
<b>+</b> ·		アスファルト防水	***************************************	モルタル厚20下地	せっこうボード 厚9目透し張	りEP		2.400 建 具:ポリ合	板 見込み40			
		シンダーコンクリート金ごて厚100下地 モザイクタイル厚 5		タイル厚 5	サ 2 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	U = 5			忙 目 12 10 A↑			
男子	4. 伊 叶 📗	アスファルト防水 シンダーコンクリート金ごて厚100下地 モザイクタイル厚5		モルタル厚20下地 タイル厚 5	せっこうボード 厚9目透し張	n E P		2,400 建 具:ポリ合	似 兄込か40			
階!	tn.	モルタル金ごて厚20下地	テラゾブロック		せっこうボード厚9+化粧岩絲	帛吸音板厚 🤄	9 張り	5, 090				
r= 1		ビニル床シート厚 2 モルタル金ごて厚20下地	(黄色)	て モルタル金ごて厚20 EP	せっこうボード厚9+化粧岩絲	皇吗 辛 垢 同 <i>(</i>	o 張 N	手 摺 厚2 3	60 × 30			
	ール	ビニル床シート厚 2	EP H=100			以及日似序、	V XII V	3,000 手指: 厚2.3				
集:	会 室	モルタル金ごて厚20下地		★ モルタル金ごて厚20 E P	化粧吸音せっこうボード厚9引	₹ <b>り</b>		3,000 黒 板:W4000		ダンス用鏡:W2800	)× H 2000扉付	
		ビニル床シート厚 2 モルタル金ごて厚20下地	H=100 木製	モルタル金ごて厚20 E P	フレキシブルボード 厚3目透	」 I.張り F.F	P +	揭示板:W1700	0 × H 1200 × 2 W2400 × D 550 × H 850	 流し台廻床:モザイ	<u> </u>	
給	<b>岩 室</b>	ビニル床シート厚2、一部モザイクタイル厚5	SOP H=100					2 540	W2400 × D 350 × H 900	派 ひ 日 起 杯 ・ ヒ ケ i		
2 和3	卒'	杉板厚15下地	畳寄せ	せっこうボード厚12+ラスボード厚7下地	化粧合板 厚3		木製30×30 OS₫	1 7 4()()	太45×45@450合板 厚5.5、			
		<u> 畳敷厚60</u> アスファルト防水	杉15×15	京壁 モルタル厚20下地	 耐水合板 厚3目透し張り EF	)		ライニング・テ	: 根太45×45@300下地 着ラゾブロック(白色)	家中 板 厚 15		
洗頂	的 Ph 📗	シンダーコンクリート金ごて厚100下地 モザイクタイル厚 5		タイル厚 5				2, 400				
女-	千伸 叶 📗	アスファルト防水 シンダーコンクリート金ごて厚100下地 モザイクタイル厚 5		モルタル厚20下地 タイル厚 5	せっこうボード 厚9目透し張	り E P		2,400 建 具:ポリ合	板 見込み40			
		アスファルト防水		モルタル厚20下地	せっこうボード 厚9目透し張	りEP		2,400 建 具:ポリ合	板 見込み40			
	子便所	シンダーコンクリート金ごて厚100下地 モザイクタイル厚5		タイル厚 5				2, 400				
	名称		2		名称		 仕上	名称				
 小部   屋				- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	   破 風 板 鉄 机	<u> </u>	<del>-</del> -		── <del>│</del> 屋根:ポリカーボネー	 ・ト厚0.7葺き		厚 2 40×40@910
外		サイディング張り、エンボス鉄板	ポー				縦:VPΦ75	庇	柱 : アルミニウム厚		母 屋:アルミニウム	
階	室名		幅木	壁	天井			СН				その他
报 1 作	幸 宮 📗 🗎	モルタル金ごて厚20下地	ビニル幅木	せっこうボード厚9下地+ビニルクロス貼り	合板厚9下地+ビニルクロス貼り		塩化ビニル製	2, 400			室外機置場:RC厚	₹300 W2000×D 600×H250
b		ビニル床シート厚2×2枚張り ラワン合板 厚12下地	──一部 モルタル金 ビニル幅木	ごで プリント合板 厚3下地	合板厚9下地+ビニルクロス貼り		塩化ビニル製	·				
2 会	毒 '至'	ビニル床シート厚 2		ごて ビニルクロス貼り				2, 400				
T			1			]	1	1		ı		
	材質	サイズ(W×D×H) 基礎		<b>備考</b>			材質	サイズ (W×D×H)	基礎			備考 ————————————————————————————————————
• 2				ロ:軽量スチールシャッターW2,900×H2,000(2	2のみ)	5	1 スチール製	800 × 500 × 1, 950	CB: 190×190×100			<b>1-1</b>
6 · 7		2, 980 × 3. 030 × 2, 400				その	2 アルミニウム製	5, 000 × 2. 600 × 2, 250			・外壁:ポリカーボネート厚0.7	躯体:アルミニウム製カーポート
4	チール製	3, 700 × 3. 030 × 2, 400		- W1 250 - L 000 - E E 1		他				床:1	合板 厚12×2 内壁:合板厚12	
5		2, 880 × 5. 100 × 2, 700		: VVI, 30U×H9UU ト厚4		遺     棟						
δ -	<del>`</del> `	2, 220 × 2. 220 × 2, 100		. W1 100 ~ 口 000 - D 巨 0								
9 J	レハブ	3, 030 × 2. 440 × 2, 350 CB: 390 × 190 × 150 5 ×	くろ(1値) AW	: W1, 100×H800 P厚3								
	アスベスト	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			 <薄付け仕上塗材>		<管類>	<建具等			L 4-11	"
例	<b>★</b> =レベル;	3 CB=コンクリートブロッ	ク	SOP=合成樹脂調合ペイント塗り EP =合成樹脂エマルションペイント塗り	AER=アクリルリシン吹付		V P =		=アルミニウム製窓 =アルミニウム製戸		∶木製戸 ∶ふすま	G B = ガラスブロック F = 型板ガラス
7.1				OS =オイルステイン塗り			но д / и ж д	S W =	=スチール製窓	P =	紙障子	P =フロート板ガラス
								S D =	=スチール製戸	A P =	アルミパーテーション	
						╡ 着	F     日     部     市       J     防     本     部			日付 2025. 8. 29	西部第三土地区画整	理記念館解体工事
							で ※			縮尺	世上表	'









 春
 日
 部
 市

 消
 防
 本
 部

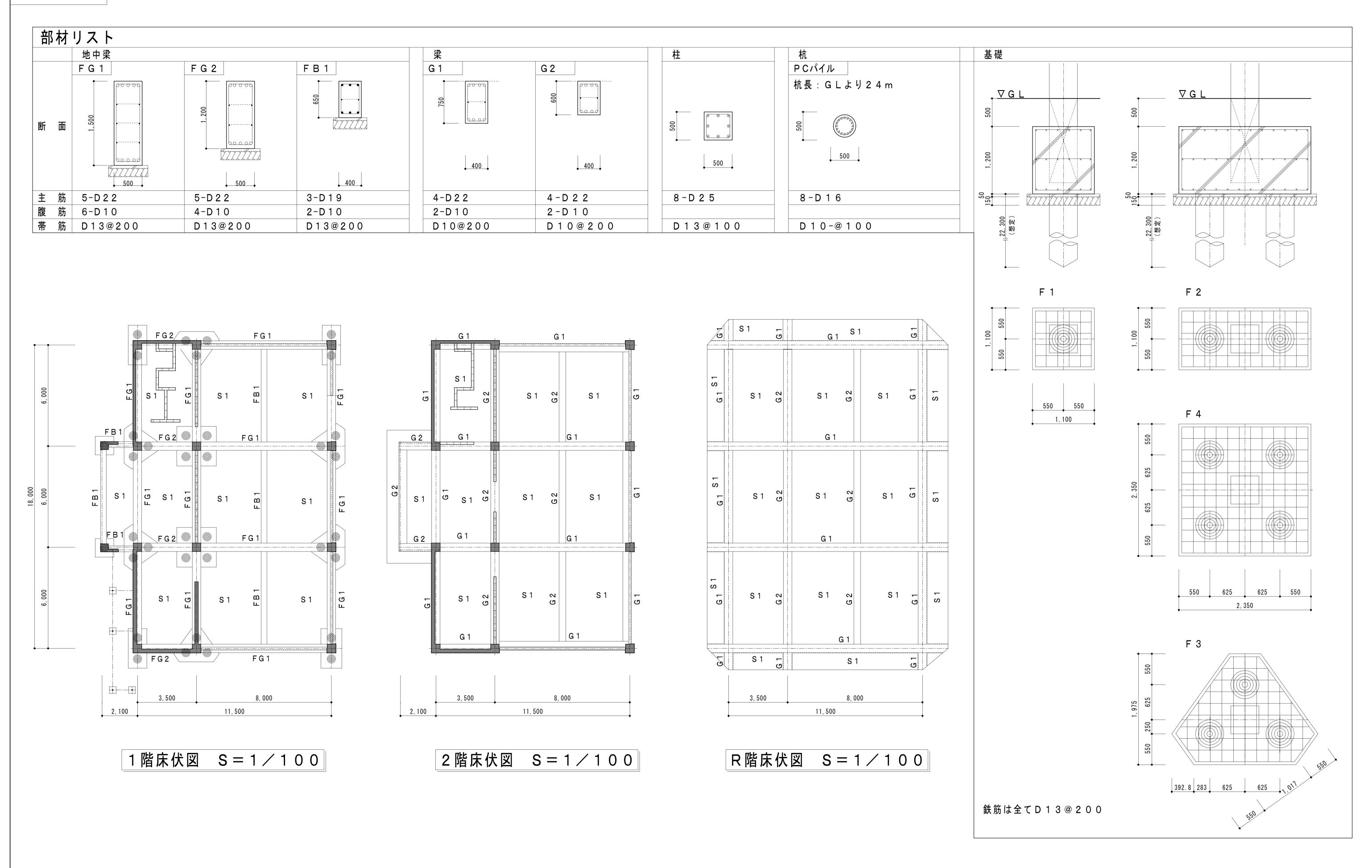
 総
 務
 課

※特記なき限り撤去とする

世代 2025. 8. 29 西部第三土地区画整理記念館解体工事 縮尺 A 1版= 1/100・30 図面名称 ①集会所棟 立面図 部分詳細図 建具表

A- 6

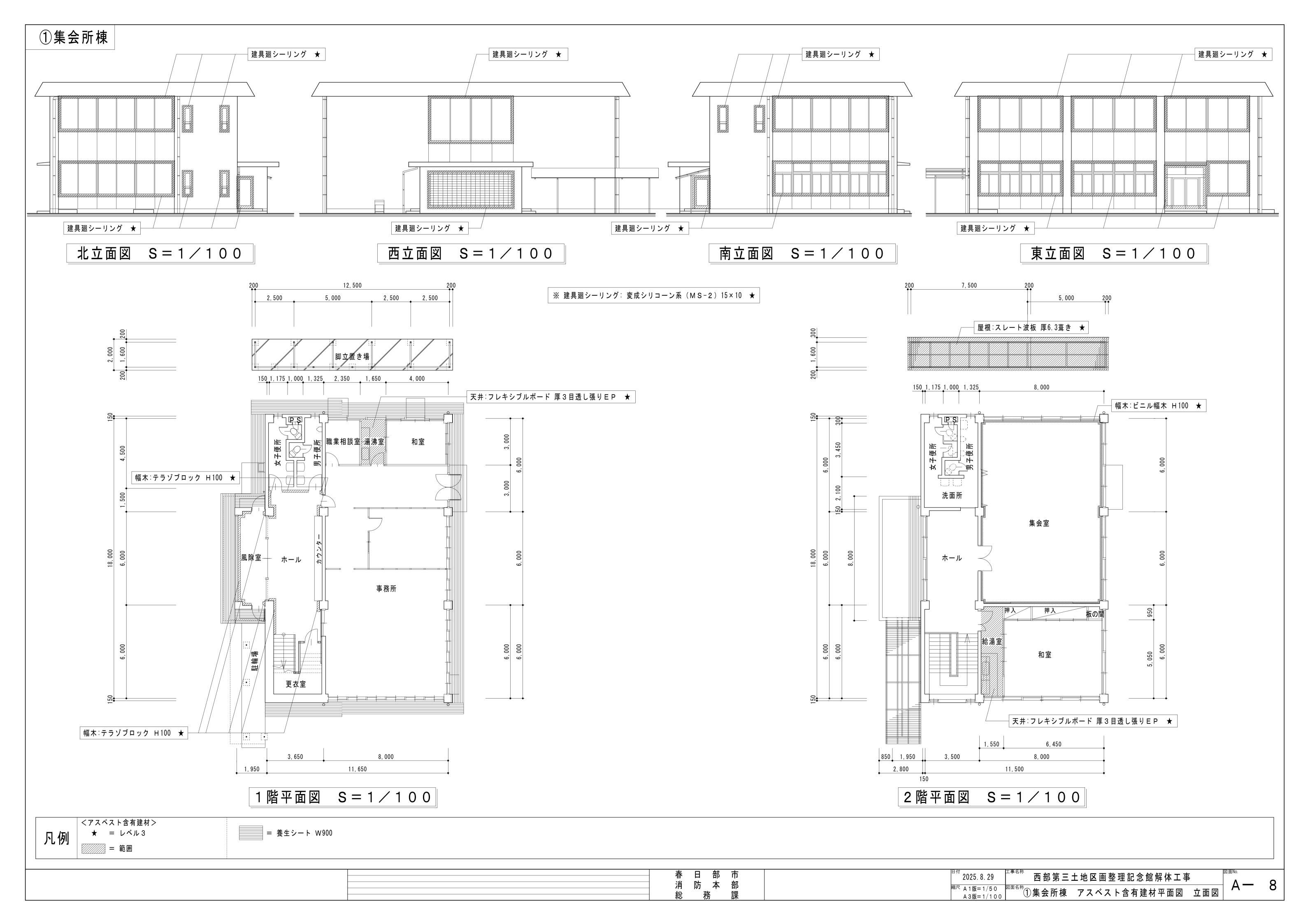
#### ①集会所棟

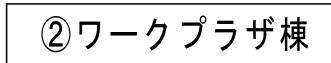


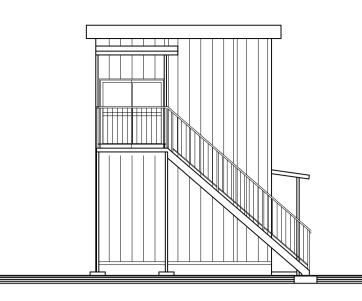
※特記なき限り撤去とする

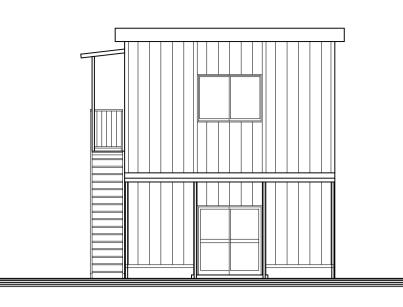
春 日 部 市 消 防 本 部 総 務 課 2025. 8. 29西部第三土地区画整理記念館解体工事A 1 版= 1/1 0 0 · 3 0<br/>A 3 版= 1/2 0 0 · 6 0①集会所棟 床伏図 部材リスト(参考)

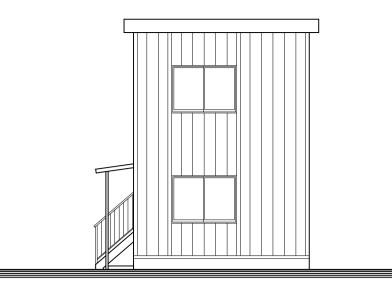
A — 7

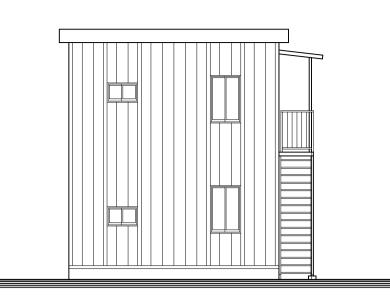










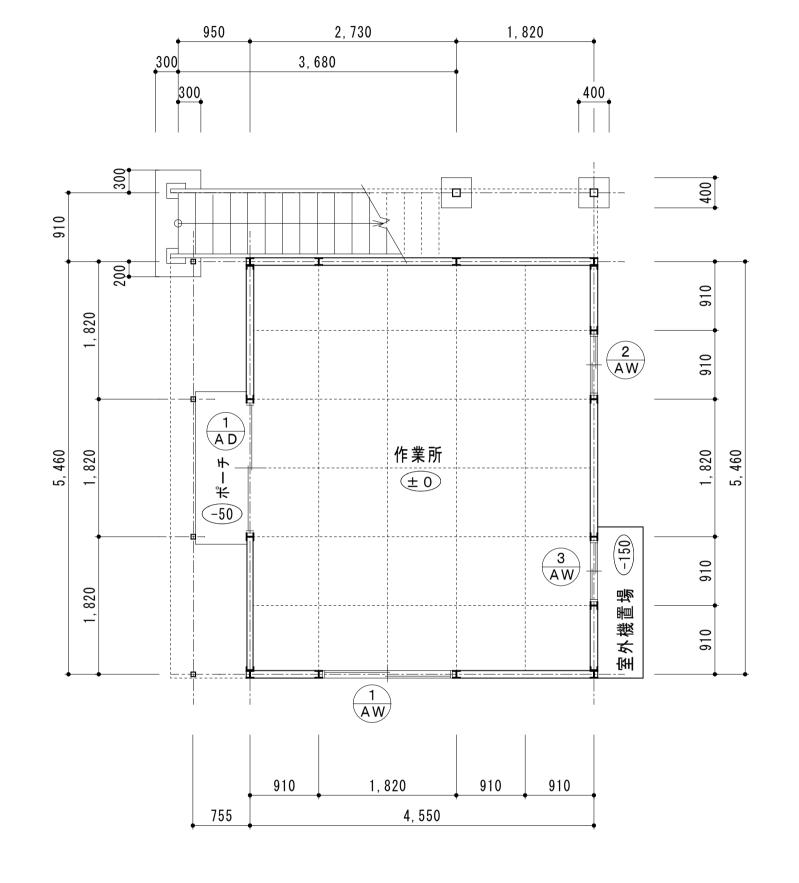


北立面図 S=1/100

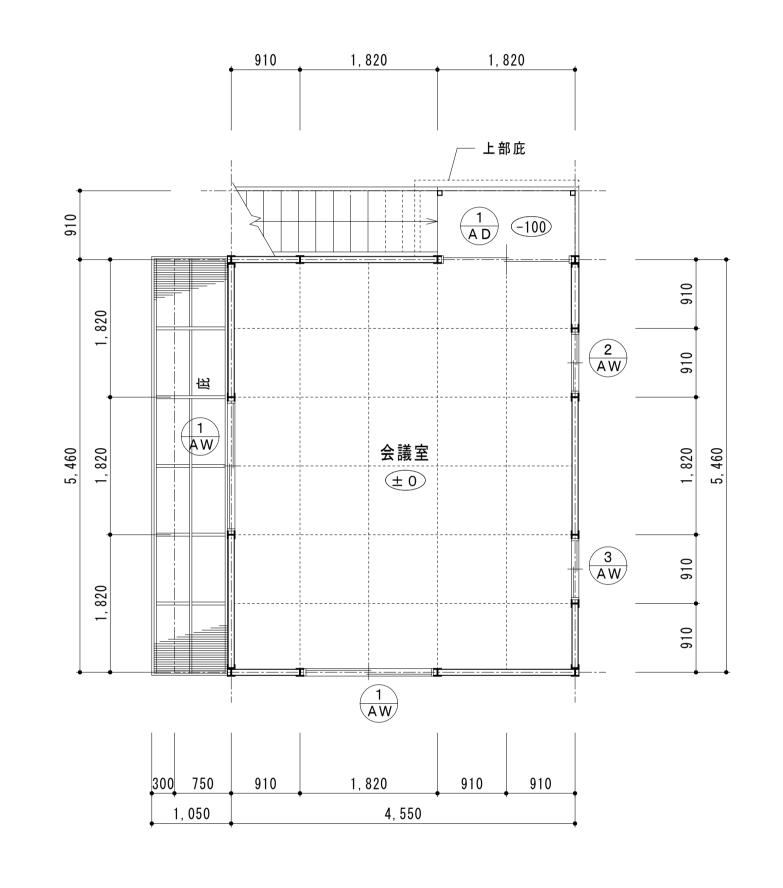
西立面図 S=1/100

南立面図 S=1/100

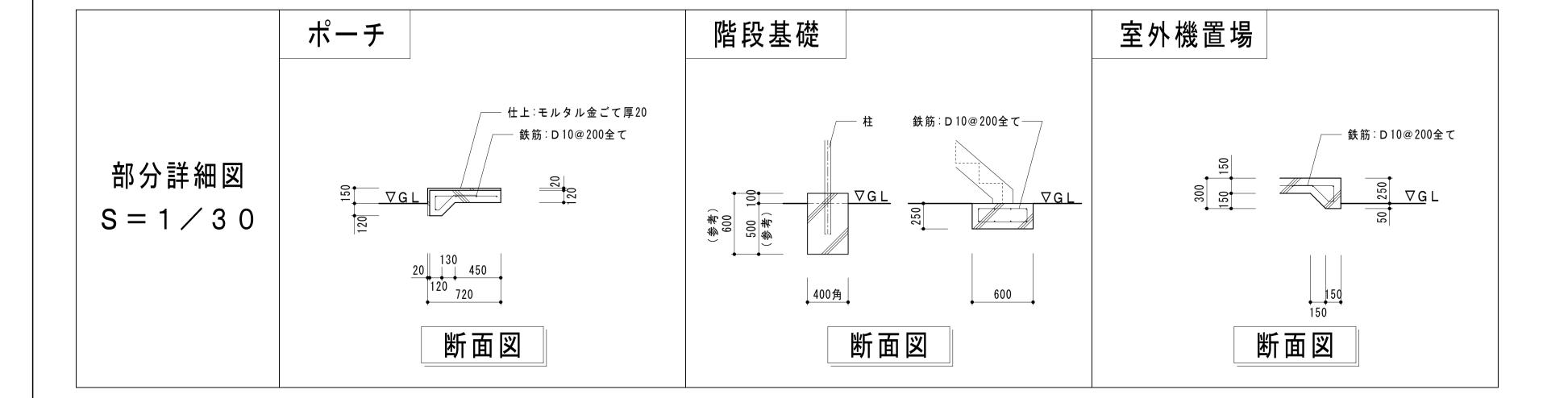
東立面図 S=1/100



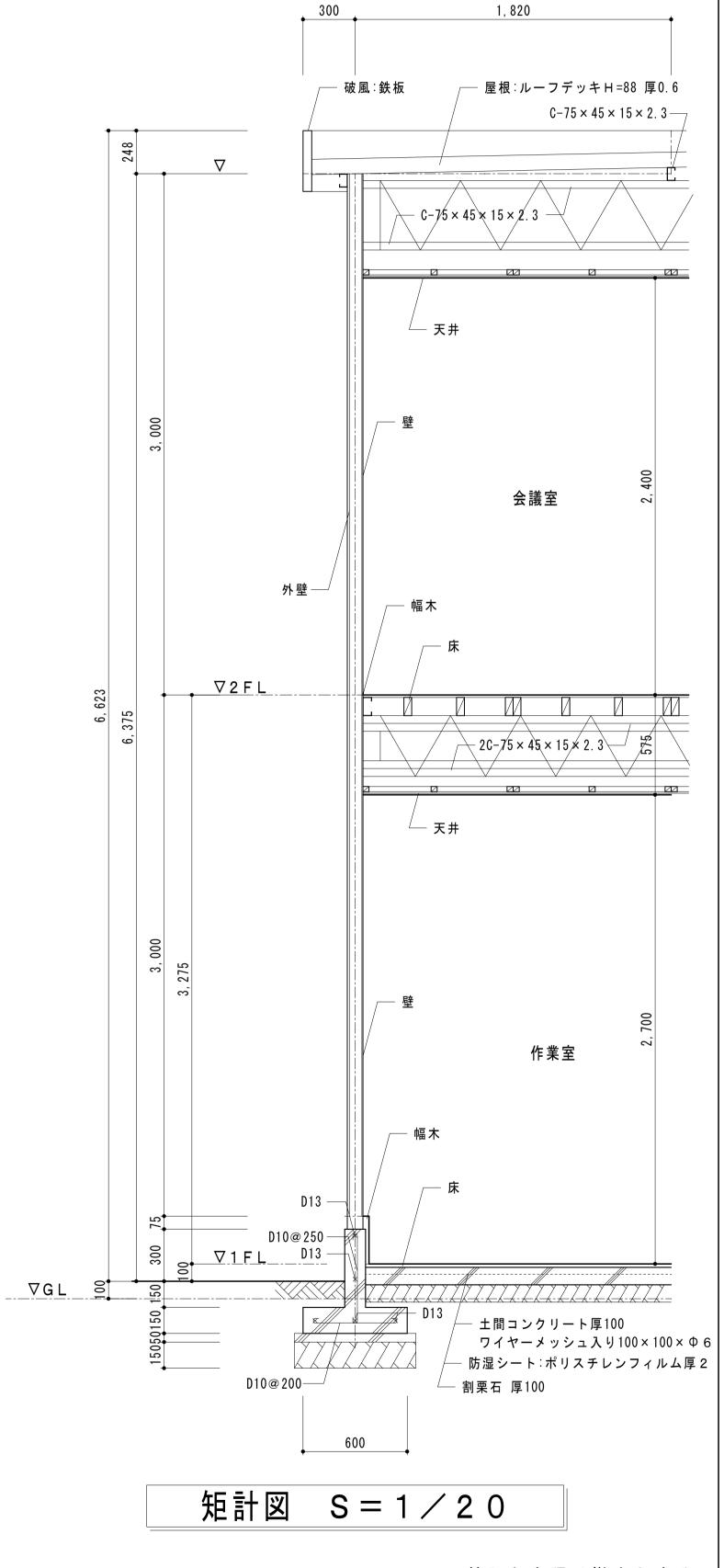




2 階平面図 S = 1 / 5 0





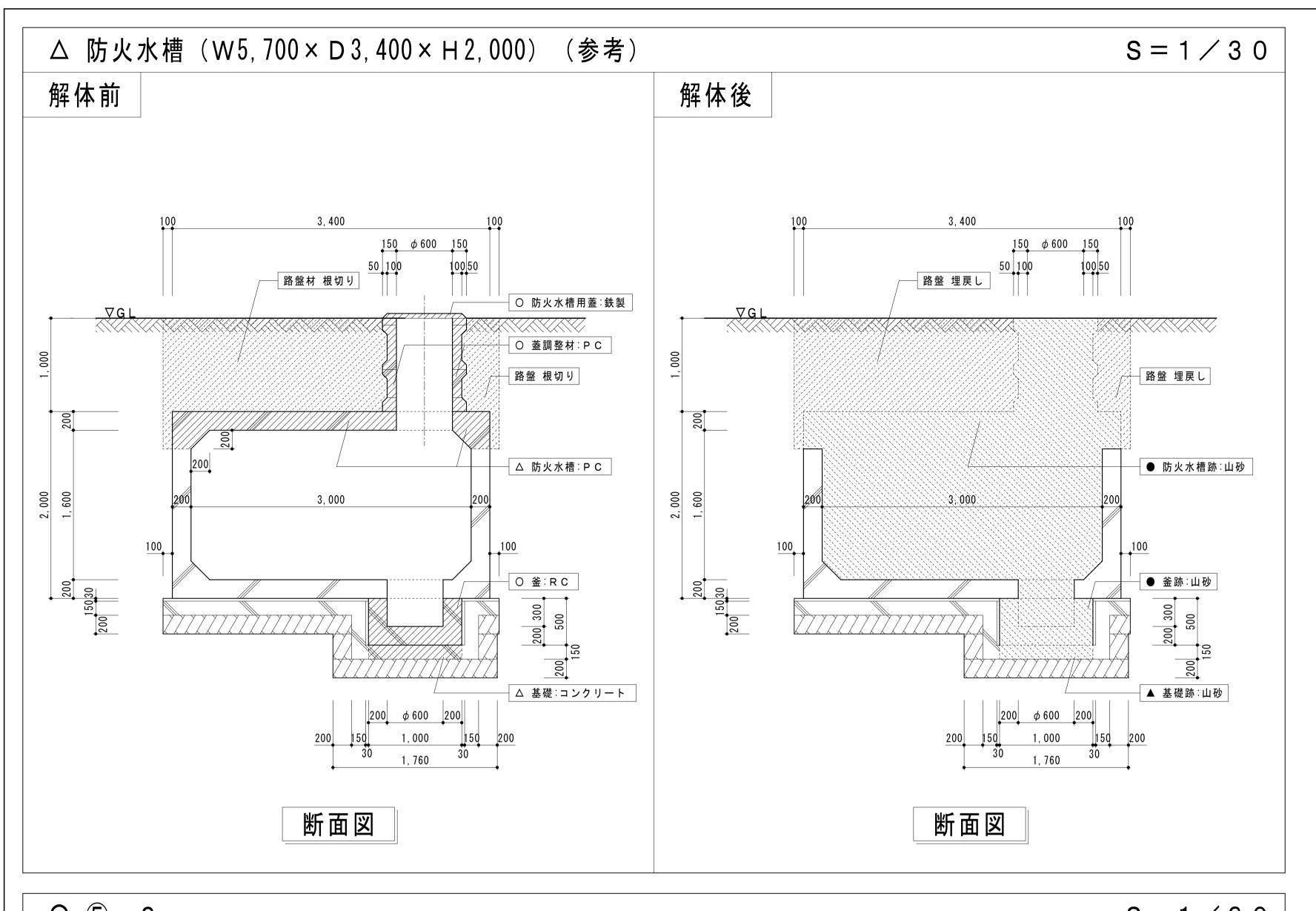


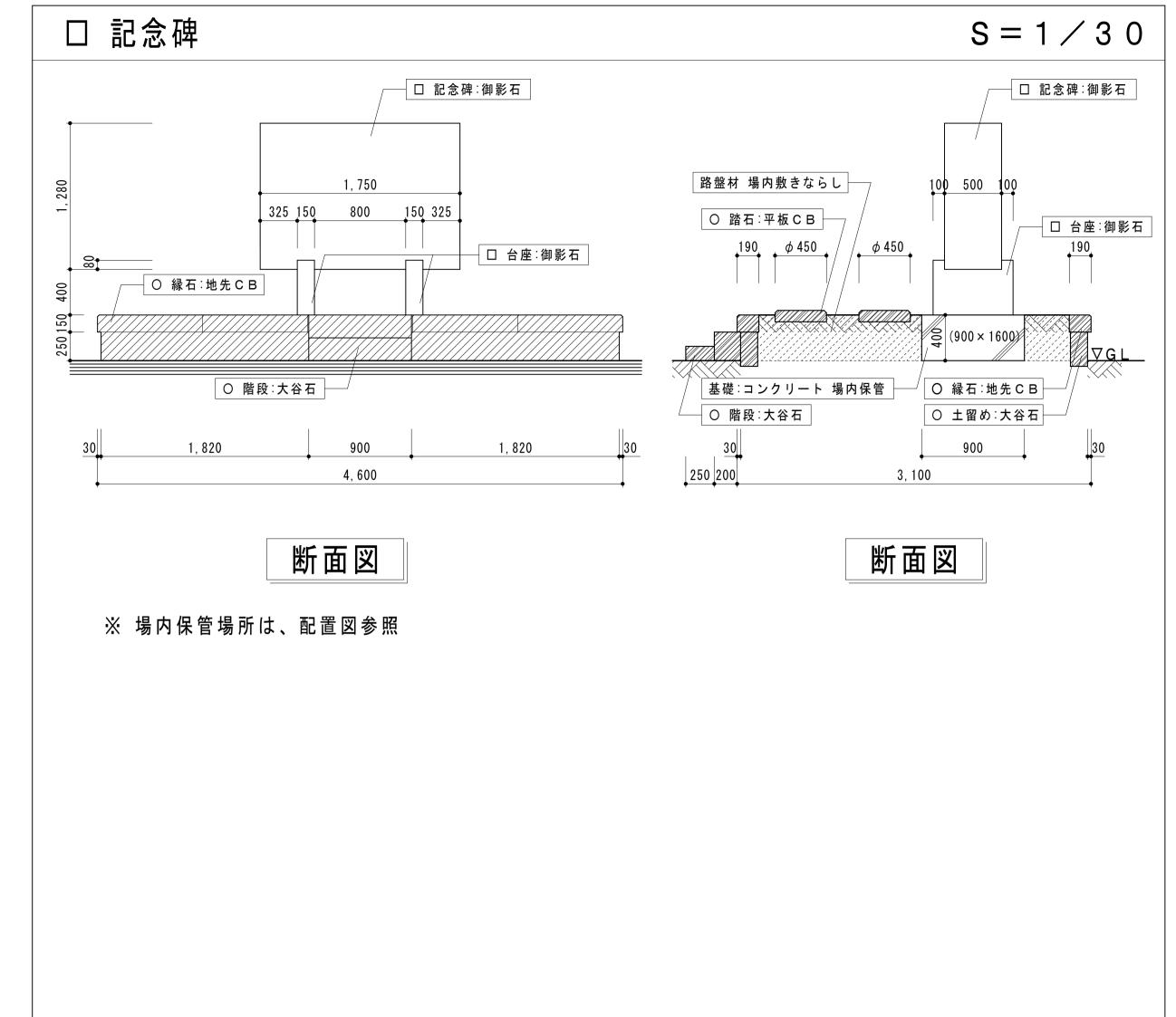
※特記なき限り撤去とする

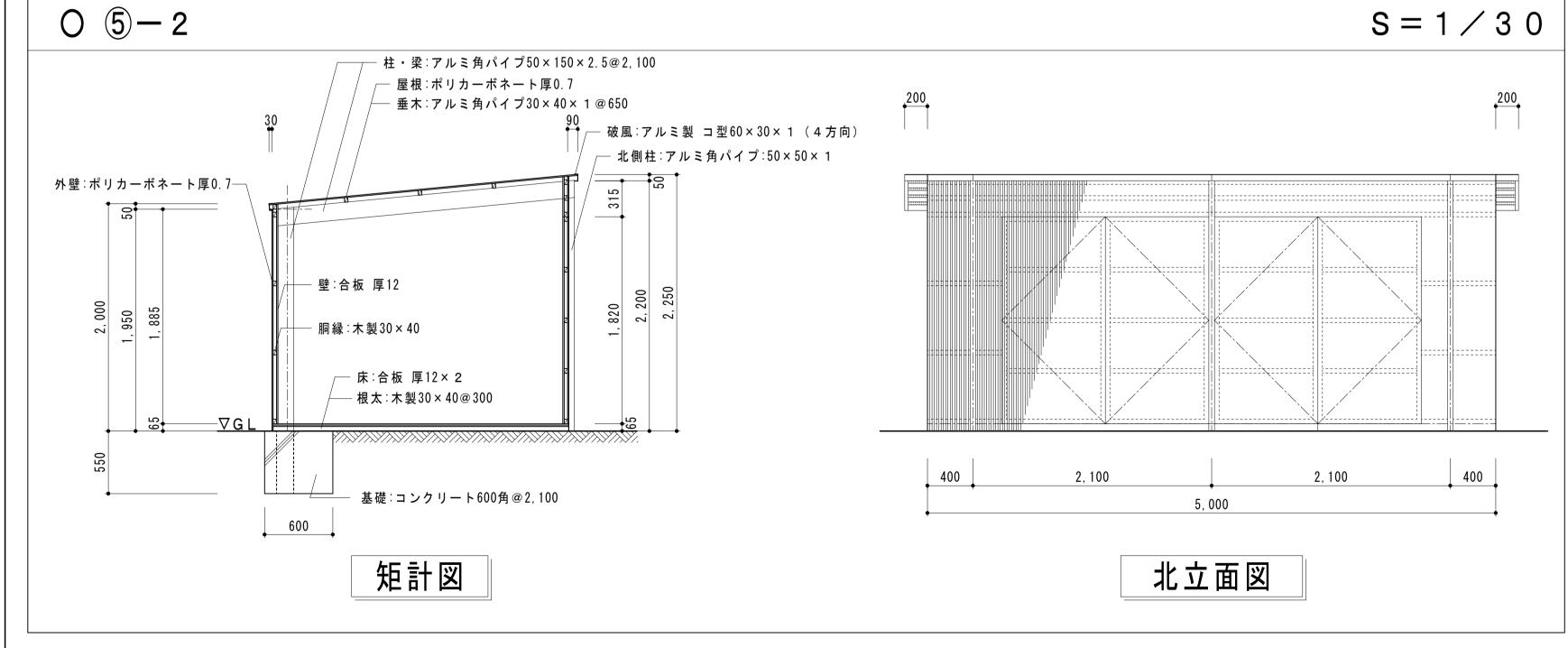
 

 a1k=1/20·30·50·100 A3k=1/40·60·100·200
 西部第三土地区画整理記念館解体工事

 A1k=1/20·30·50·100 A3k=1/40·60·100·200
 ②ワークプラザ棟 平面図 立面図 矩計図 建具表





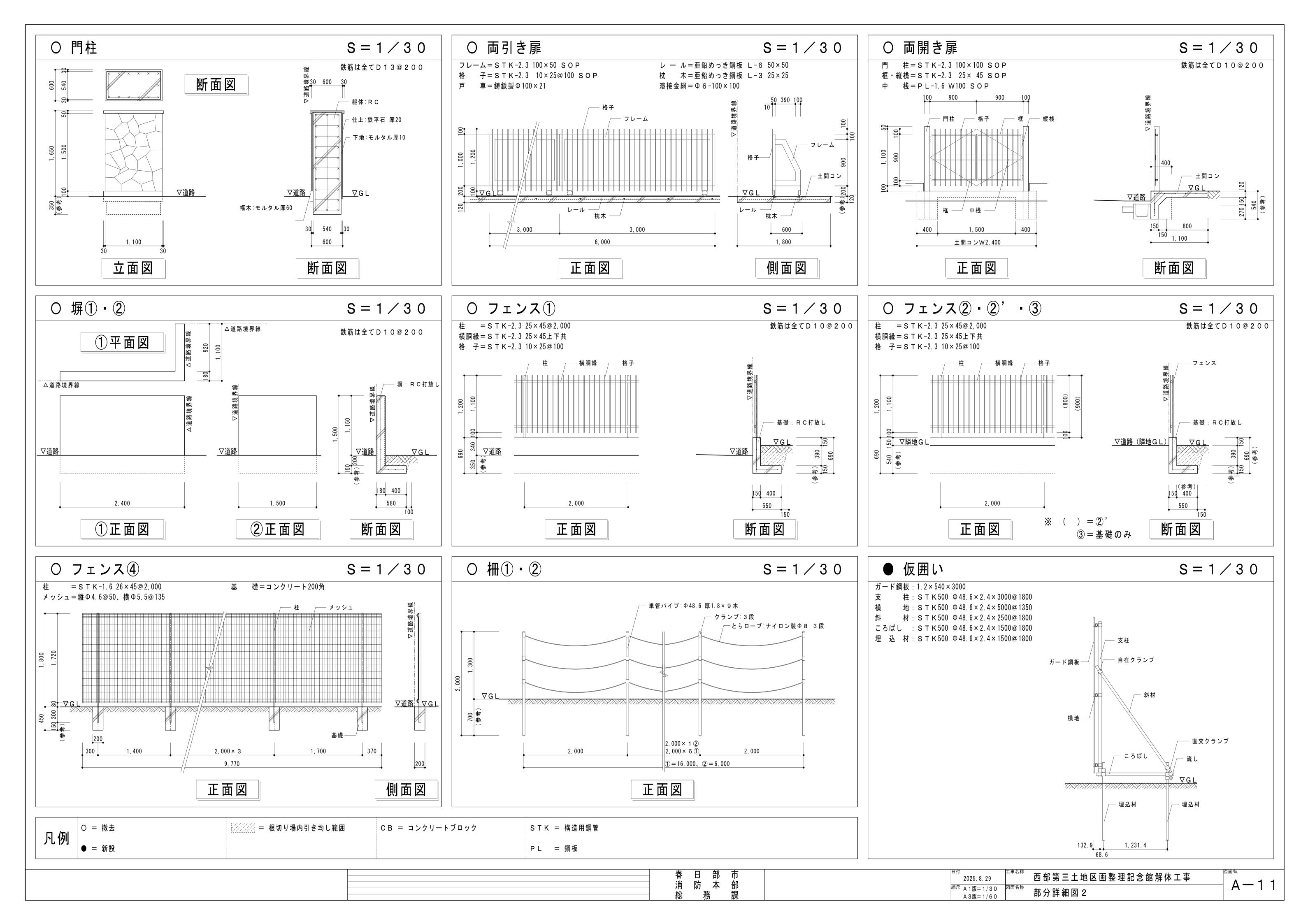


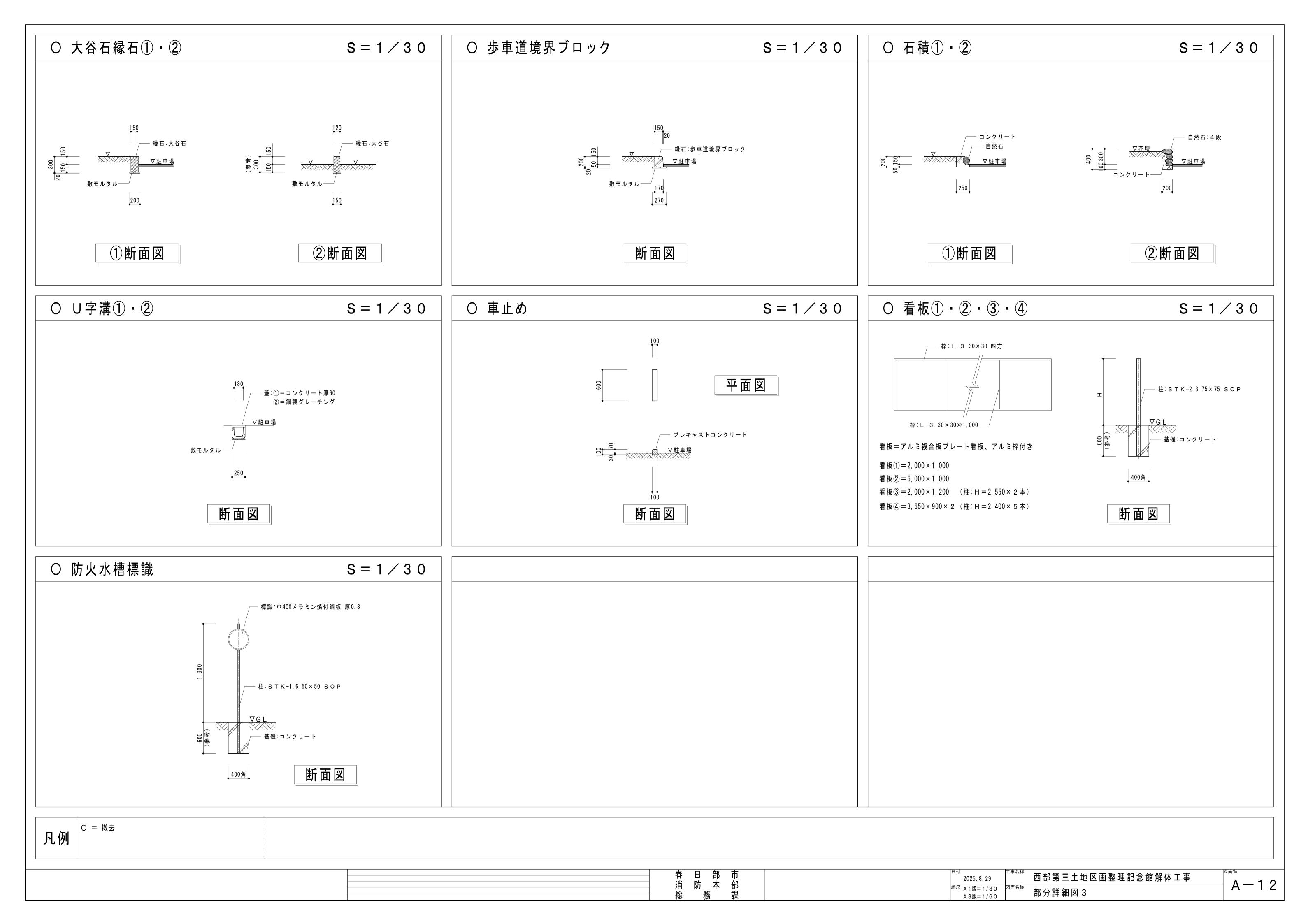
※特記なき限り撤去とする

消防本部総務課

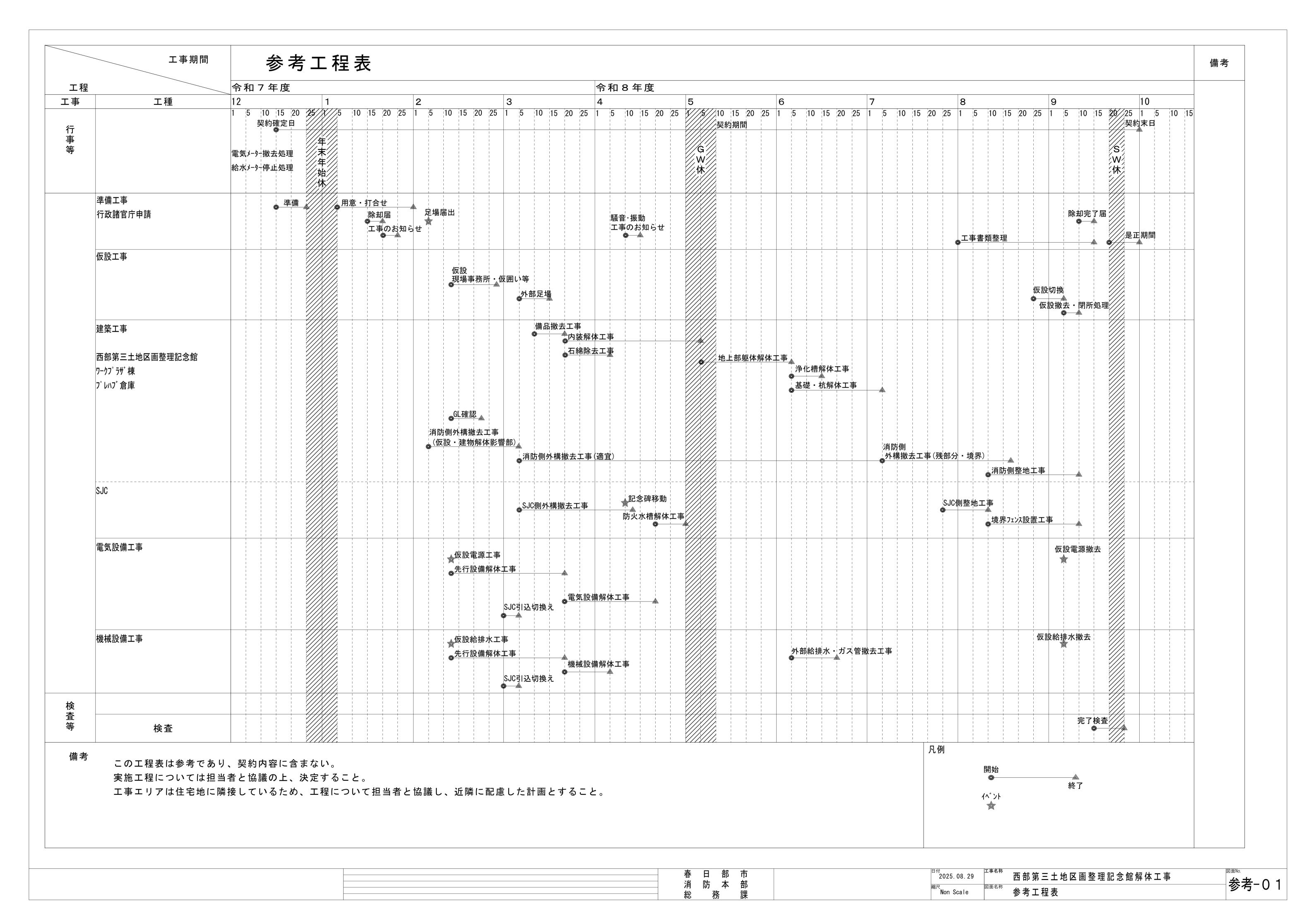
 and control of the properties of t

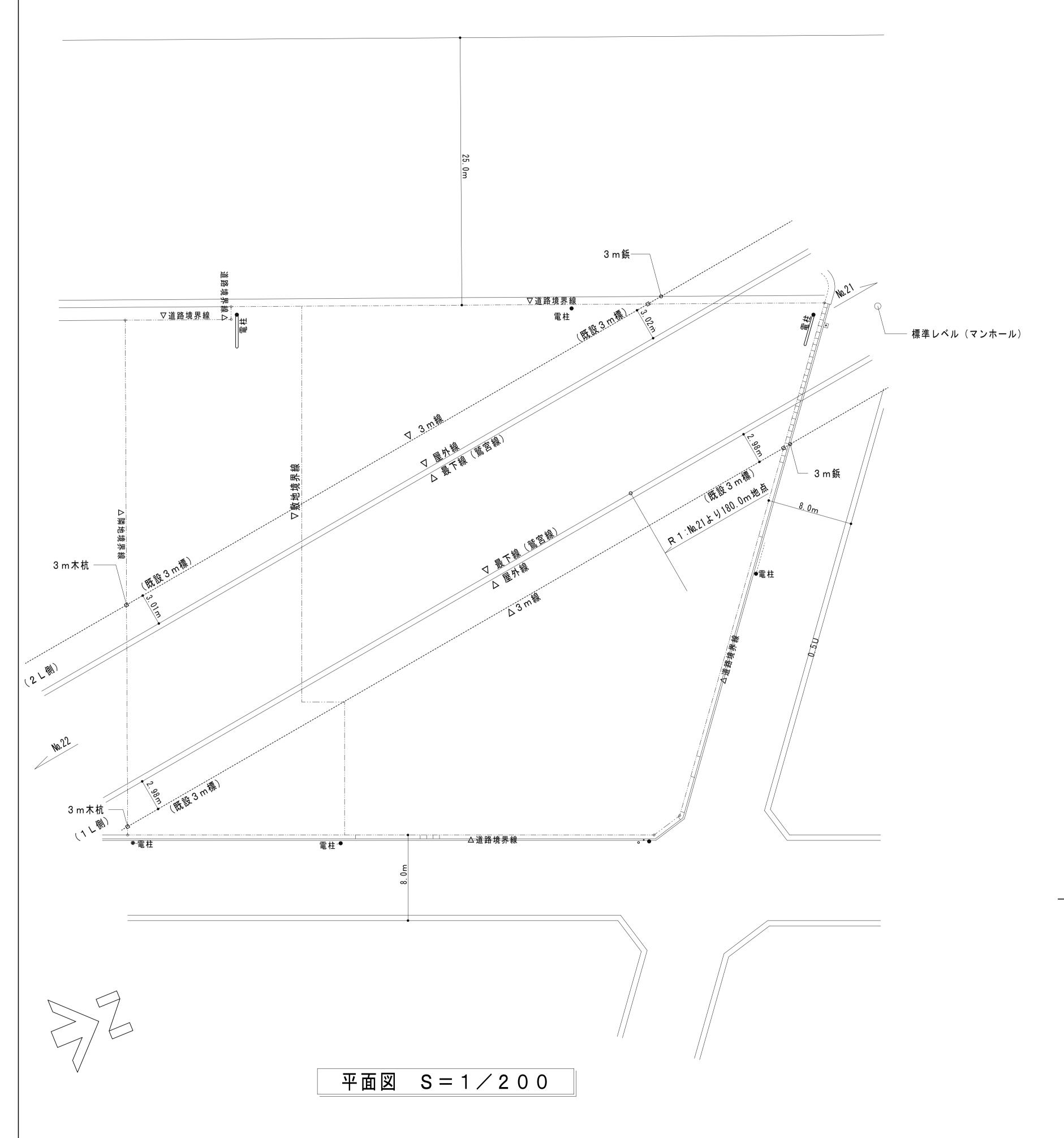
A-10



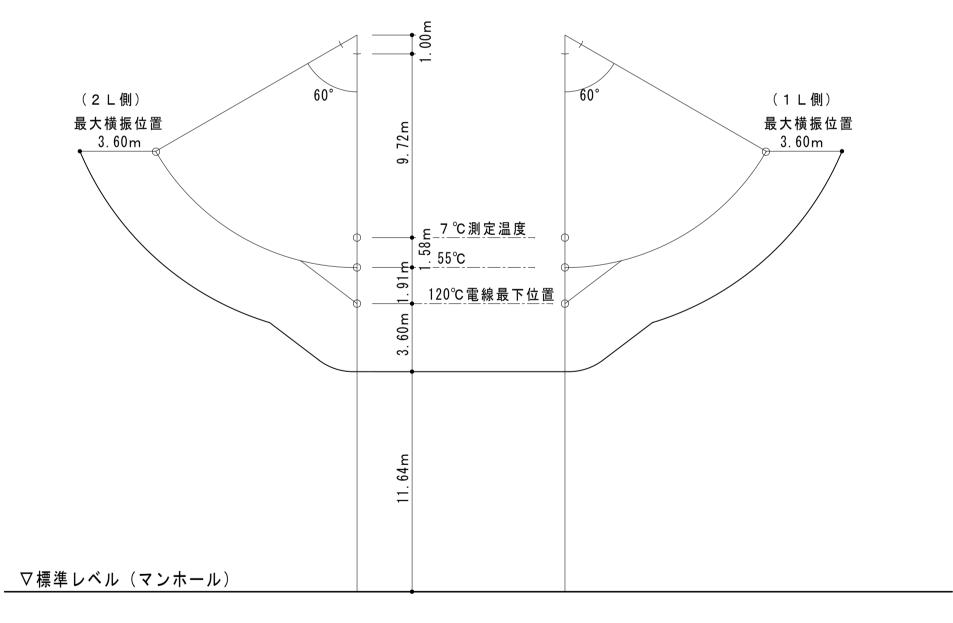


1 木製下足入れ 1000 x 1500 x 300 750 x 1500 x 300	数量 1 2	2 液晶テレビ 800 x 150 x 600	数量		ブラウン管テレビ 900 x 400 x 800	数量 1		ブラウン管テレビ 660 x 500 x 540	数量 1	5	5 ブラウン管テレビ 14インチ	数量 6	る スチール製灯油タンク 500 x 300 x 300 380 x 520 x 230	数量 1 1	7	スチール製灯油タンク 650 x 500 x 1060	数量 1	8 家庭用洗濯機(全自動)( 600 x 600 x 900 770 x 470 x 880	二層式) 数量 1 1
9 家庭用洗濯機(二層式)	数量	10 家庭用冷蔵庫	数量		業務用プリンター	数量		シンク水槽	数量	1:	3 焼却炉残骸		4 古タイヤ	数量	-	アルミ製脚立		16 アルミ製三連ハシゴ	数量
770 x 470 x 880	1	500 x 500 x 920	1		500 x 530 x 390	1		1050 x 450 x 550	1		550 x 600 x 800	1	165 S R 13	5		600 x 2800	1	4400 x 470	1
17 安定器収納保管箱	数量	18 写真現像機	数量	19		数量	20	湯沸し器	数量	2	21 コンデンサー	数量 2	2 オーブン付ガス台	数量	23	コンクリート製台	数量		
500 x 500 x 500	1	490 x 590 x 1350	1		7 L 缶	1		Ф 300 х 750	1		30 K V A 9. 5kg 75 K V A 17kg 20 K V A 15kg 30 K V A 20kg 50 K V A 20kg 30 K V A 17kg Z P C - 9 B 15kg 75 K V A 18kg		600 x 550 x 800	1		300 x 300 x 400 440 x 330 x 190	1 10		
																T			
		·									I							1	
											春 日 部 市 消 防 本 部			縮尺	8. 29 S c a l e	西部第三土地区画 図面名称 残置物撤去リスト	」 「整理記念	窓館解体工事	■No. A-13





路線名	鷲宮線
電 圧	6 6 K v
径間	329.6 m
等 価 径 間	329.6 m
電線	A C S R 4 1 0 <sup>-</sup>
がいし吊型	= = ~
最大風速	40 m/s
最大横振角	6 0 度
離隔距離	3.60 m
	測定時(7℃) 9.80m
	4 5 °C 11.08m
電線弛度	5 5 °C 11. 40 m
	1 0 0 °C 12.75 m
	1 2 0 °C 13.32m



春日部線No.21~No.22 R 1:No.21より180.0m地点

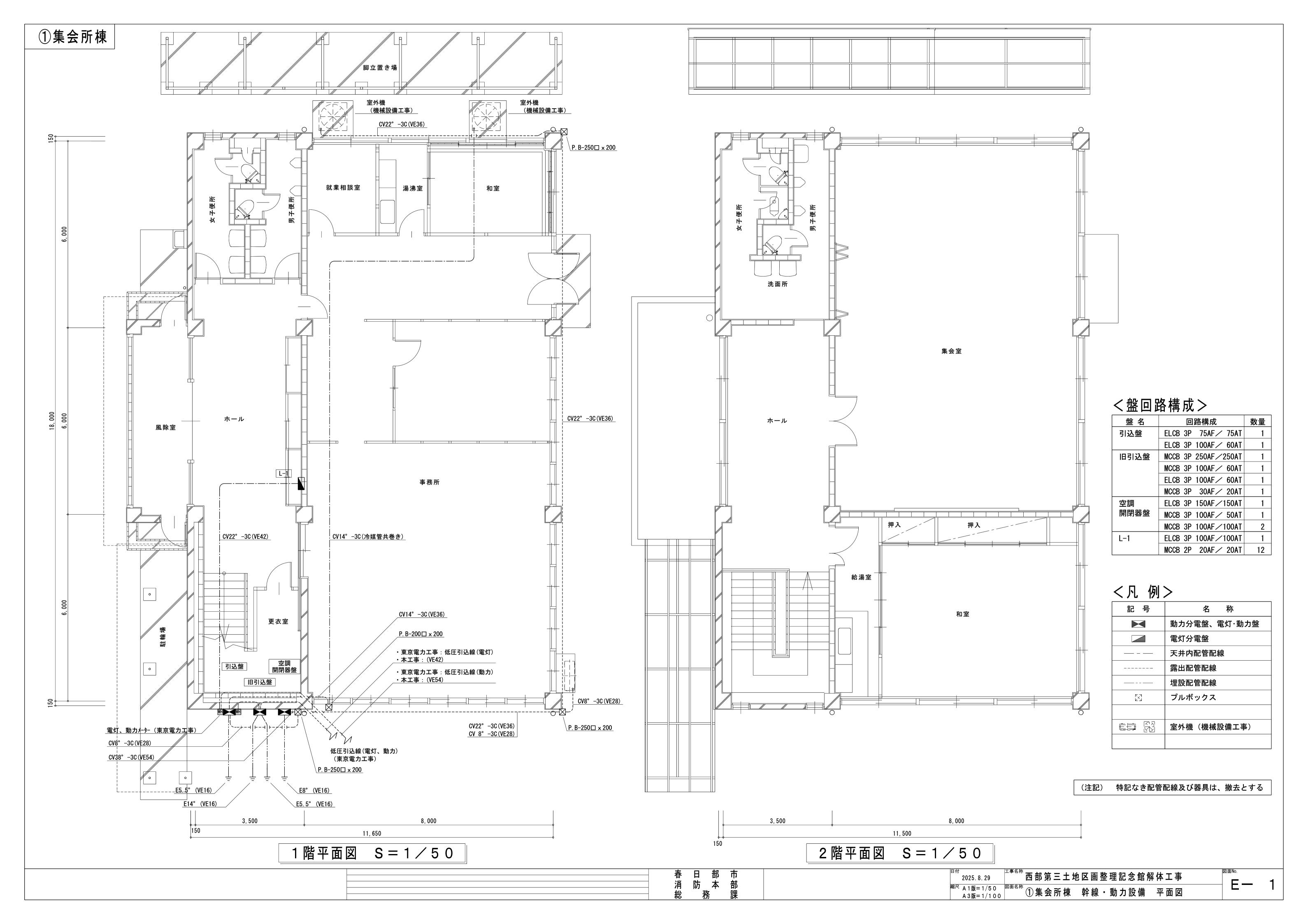
立面図 S=1/200

 春
 日
 部
 市

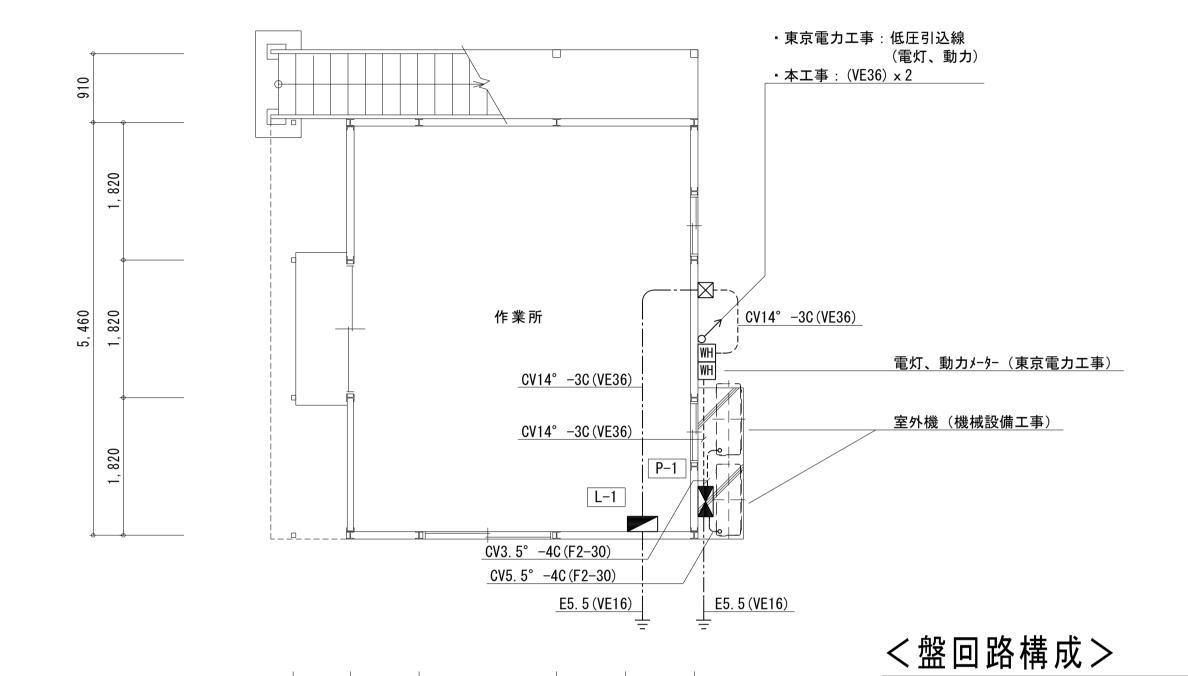
 消
 防
 本
 部

 総
 務
 課

参考-02



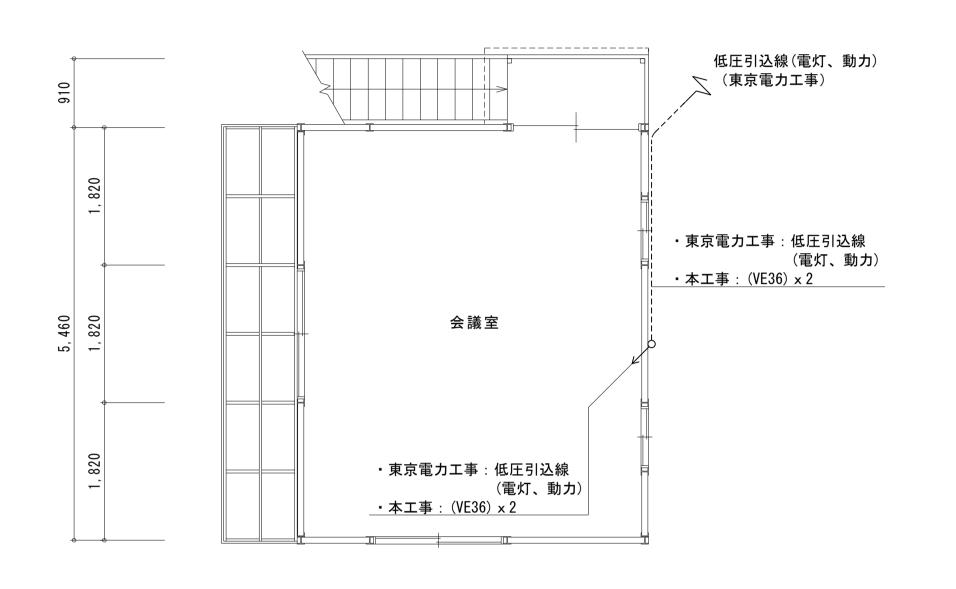
#### ②ワークプラザ棟

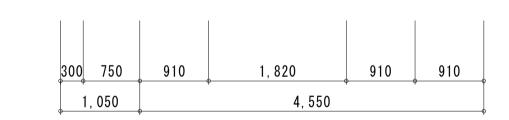


1 階平面図 S=1/50

4, 550

1,820 910 910





2 階平面図 S=1/50

#### <凡 例>

記号	名 称
	動力分電盤
	電灯分電盤
	天井内配管配線
	露出配管配線
	埋設配管配線
[X]	プルボックス
	室外機(機械設備工事)

(注記) 特記なき配管配線及び器具は、撤去とする

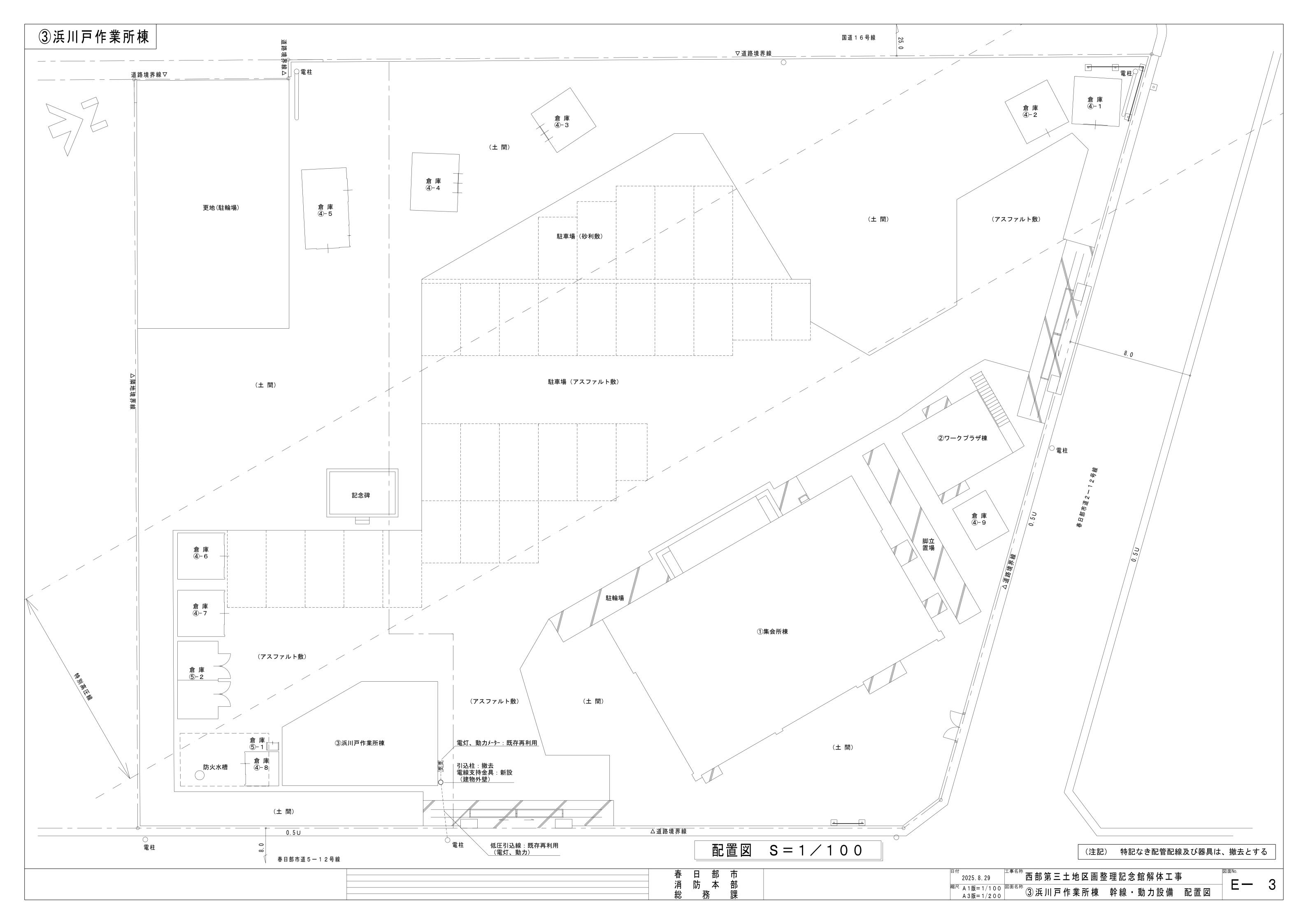
回路構成

ELCB 3P 50AF/30AT

ELCB 3P 60AF / 50AT

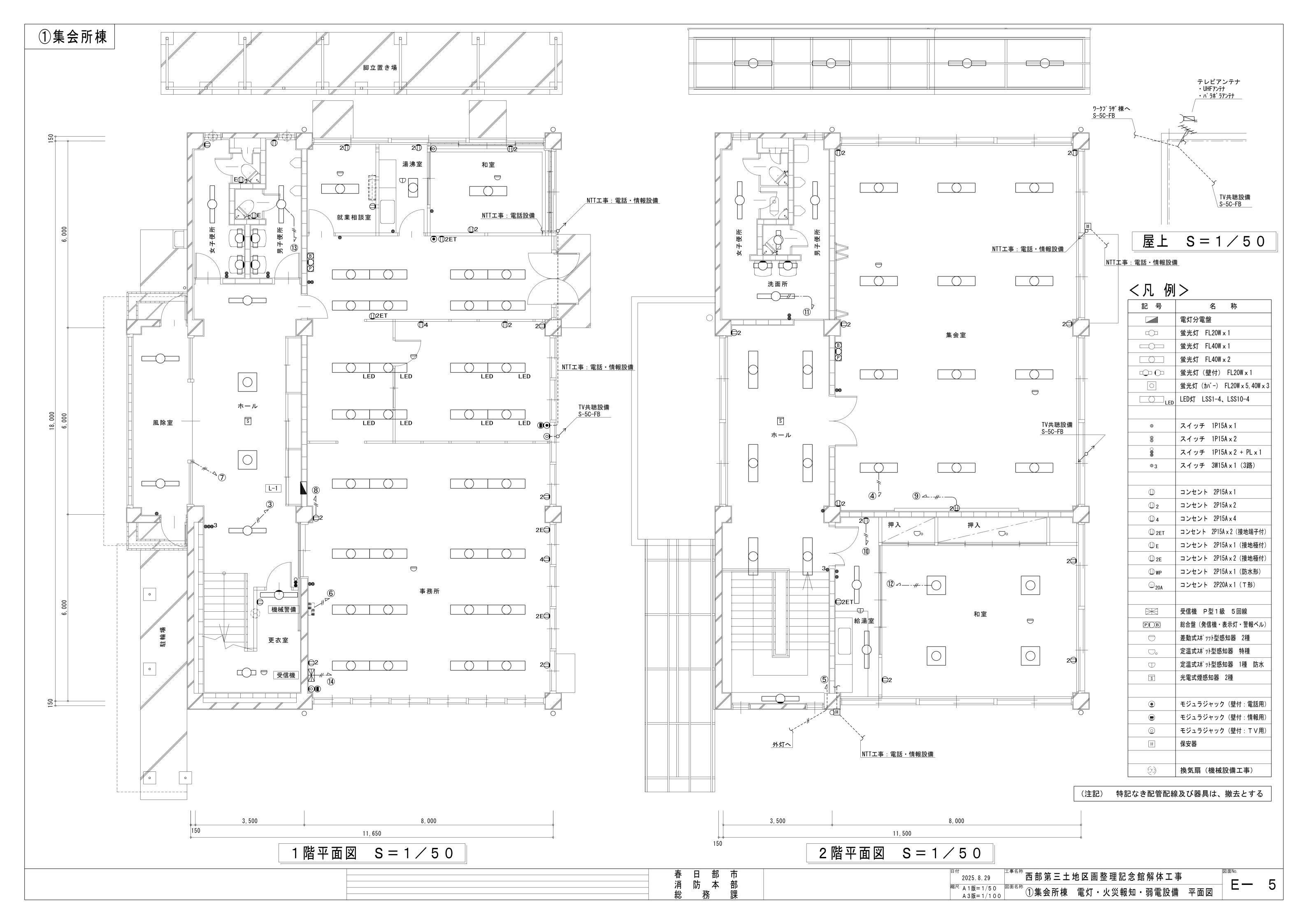
MCCB 1P 20AF∕15AT

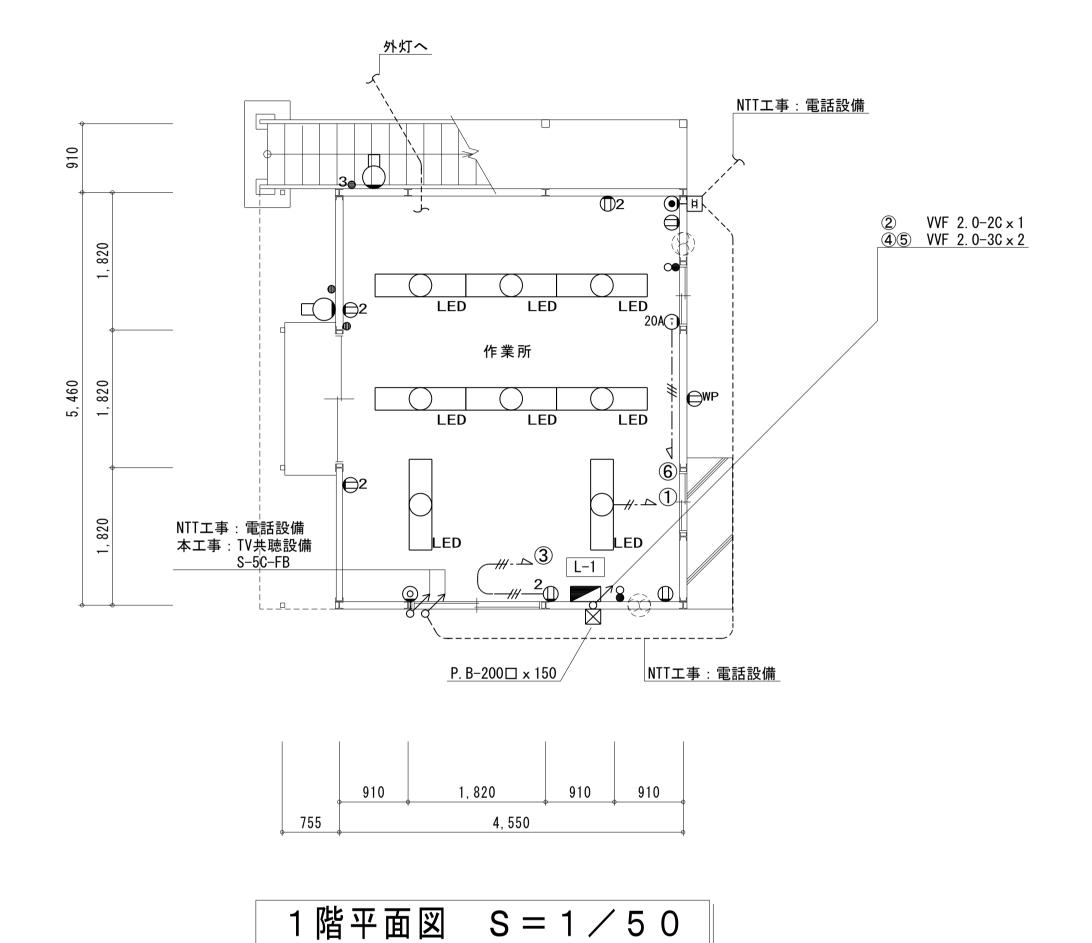
数量



#### 器具表 (撤去)

		外構	【外構】 計										集会	所棟		T								【集会所棟】	ワークフ゜ <del>・</del>	ザ棟	【ワークフ゜ 
器具名称	仕 様			屋外			1		Ţ	1 階	<u>.                                     </u>				I							屋上		1 階	2 階		
				脚立 置場	就 業相談室	湯沸室	和室	ボランティア 待合室	人材センター 総務	人材センター 事務室	ホール ・ 階 段	更衣室	風除室	男子便所	女子便所	集会室	湯沸室	和室	ホール ・ 階 段	洗面所	男子便所	女子便所					
蛍光灯器具 撤去	FL 20W×1 露出形											1		2	2					2	1			8	2	1	
	FL 20W×2 露出形					1																		1			
	FL 20W×5 露出形																	4						4			
	FL 40W×1 露出形			4								1					2							7			
	FL 40W×2 露出形				1		1	8		16						12			6					44			
	FL 110W×1 露出形																		1					1			_
	FL 40W×1 埋込形										2		2	1	1					1	1	1		9			
	FL 40W×3 埋込形										2			-	-						-	•		2			
コンパ゚クト蛍光灯器具 撤去	FHT 32W×1 露出形	2	2																								_
 LED器具 撤去	LSS1-4 露出形	4	4																								+
	LSS10-4 露出形								8															8	8	6	
	LBF2 露出形	1	1																								<u> </u>
タンフ゛ラスイッチ 撤去	1P15A × 1				1	1		1	1			1	1				2		1					9	2	2	
	1P15A × 2							1		1	1			1	1	1				1				7			
	1P15A x 1 PL x 1											1												1	2		
	3W15A × 1										1								1					2	1	1	
<b></b>	2D15A 1				-							4		4	4										0		+
コンセント 撤去	2P15A × 1 2P15A × 2	1	1		1	1	2		2	1		<b>I</b>		l	1	6	1	3	1					21	2	I	
	2P15A x 4		<u>'</u>		1	<b>I</b>			1	1						0	<u>'</u>	3	<b>I</b>					2	4	4	+
	2P15A×2 (接地端子付)							2	•	•							1							3			+
	2P15A×1 (接地極付)													1	1		<u>'</u>							2			_
	2P15A×2(接地極付)									2				•	•									2			
	2P15A×1 (防水形)																								1		
	2P20A x 1																								1	1	
受信機 撤去	P型1級 5回線									1														1			+
総合盤 撤去	単独(発信器、表示灯、警報ベル)							1								1								2			
スポット形感知器 撤去					1	1	1		1	1		1				2	1	3						12			
煙感知器 撤去											1								1					2			
»																								4			
テレビ アンテナ 撤去																							1	1			+
ᄼᄾᇔᄀᅃᅠᅥᆇ	パラボラアンテナ 750 <i>φ</i>																						1	1			+
分配器 撤去         混合器 撤去	十刀 臼																						1	1			+
直列ユニット 撤去	端末						1		1														•	2	1	1	+
電話 アウトレット 撤去	tソ ユフーソ ヤツク							1	1	1														3	1	1	+
情報 アウトレット 撤去	モシ゛ュラーシ゛ャック								1	1														2			+
	TV 0 0		100	<u>'</u>		ı	1			I	1			1	1	I	1	1		1							<del></del>
電灯設備	IV 2. 0		162																					000			_
	VVF 2. 0–2C																							393			_
	VVF 2. 0-3C																										+
火災報知設備	IV 1.2																							409			$\pm$
テレビ共聴設備	S-5C-FB																							28			+
ノ   /   - <del>-                                 </del>	ט ט ט ט ט ט	1 1																						_ Zŏ			4



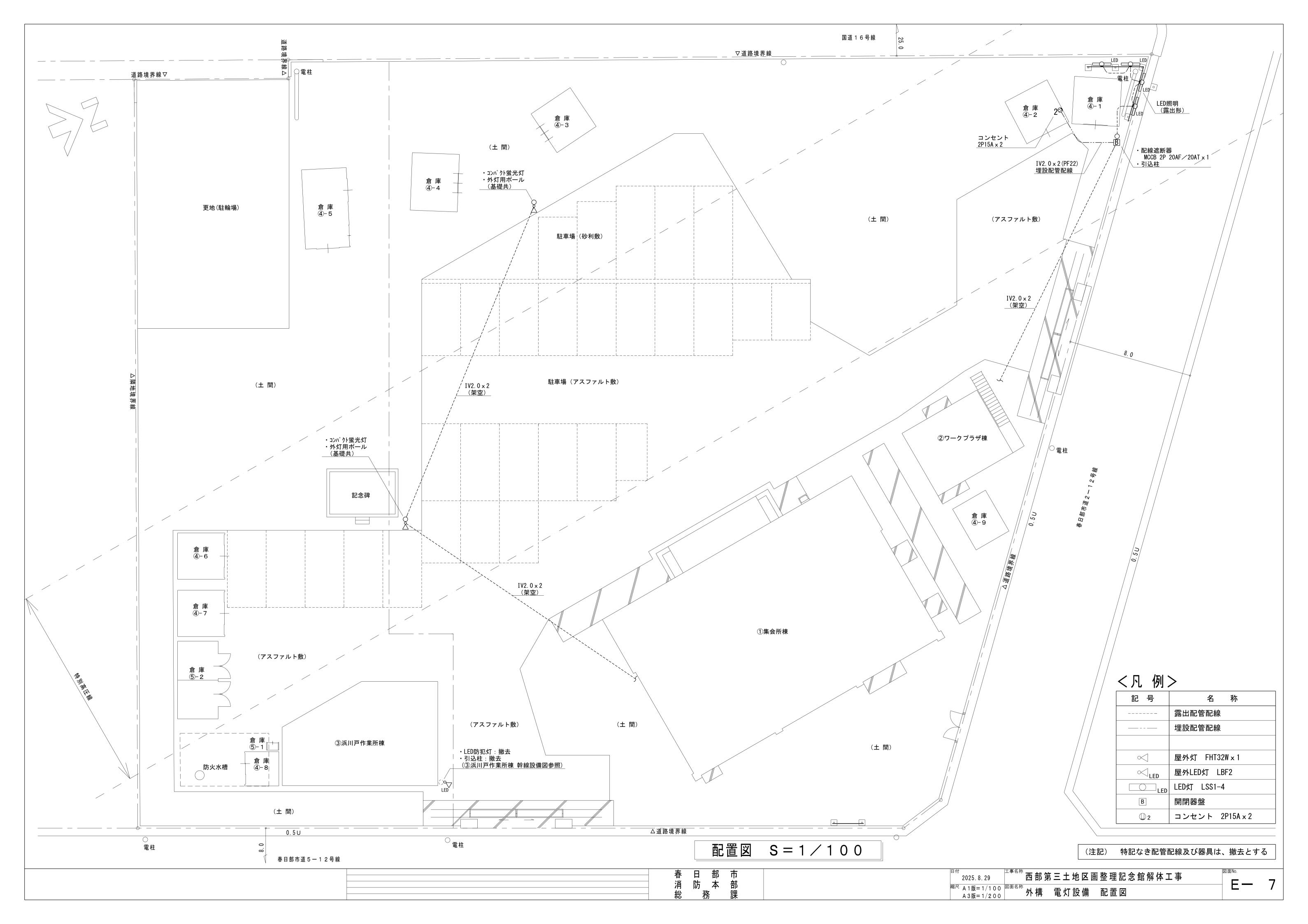


2 階平面図 S = 1 / 5 O

記号 名 電灯分電盤 蛍光灯 FL20W×1 蛍光灯 FL40W×1 蛍光灯 FL40W x 2 蛍光灯(壁付) FL20W×1 蛍光灯(カバー) FL20W×5,40W×3 LED灯 LSS1-4、LSS10-4 スイッチ 1P15A×1 スイッチ 1P15A×2 スイッチ 1P15A×2 + PL×1 スイッチ 3W15A×1 (3路) コンセント 2P15A×1 コンセント 2P15A×2 コンセント 2P15A×2 コンセント 2P15A×2(接地端子付) コンセント 2P15A×1 (接地極付) コンセント 2P15A×2 (接地極付) コンセント 2P15A×1(防水形) コンセント 2P20A×1 (T形) 受信機 P型1級 5回線 総合盤(発信機・表示灯・警報ベル) 差動式スポッット型感知器 2種 定温式スポット型感知器 特種 定温式スポット型感知器 1種 防水 光電式煙感知器 2種 モジュラジャック (壁付:電話用) モジュラジャック(壁付:情報用) モジュラジャック(壁付:TV用) 保安器 換気扇(機械設備工事)

<凡 例>

(注記) 特記なき配管配線及び器具は、撤去とする



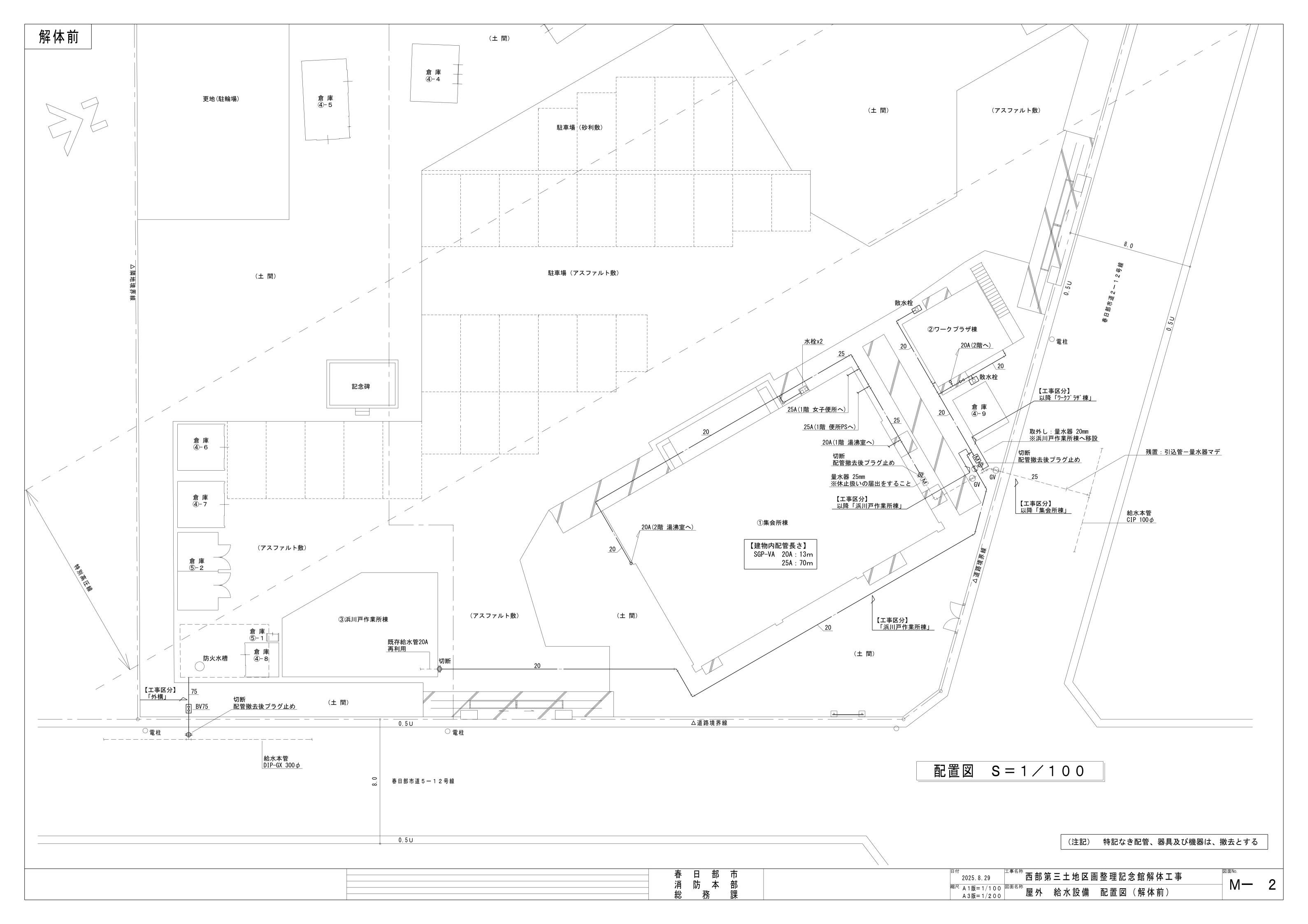
## 器具表 (撤去) 【①集会所棟】

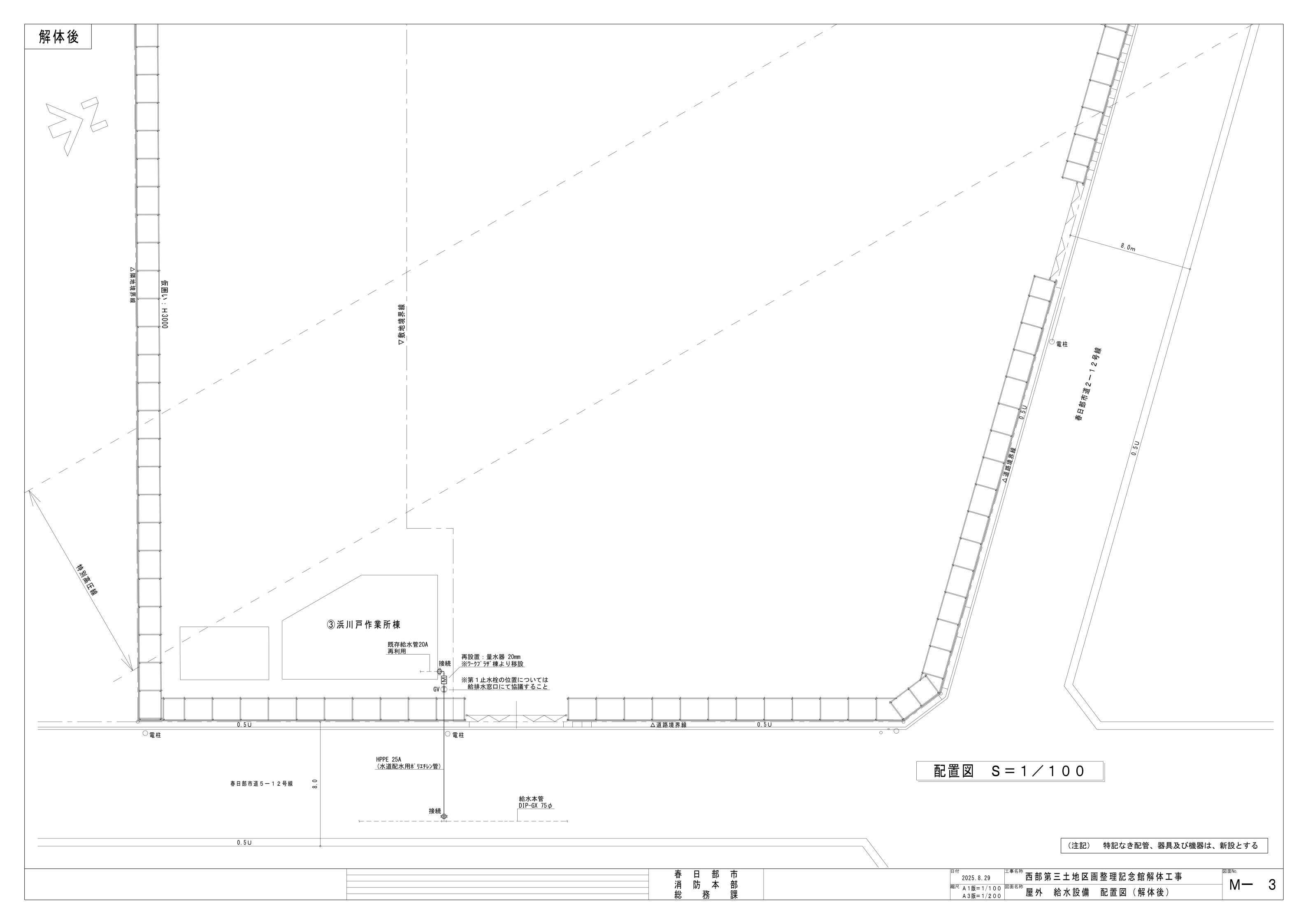
工事区分	器具名称	仕 様					集会所棟				合 計
			屋外		1 階			2	階		
				男子便所	女子便所	湯沸室	男子便所	女子便所	洗面室	湯沸室	
衛	和風大便器	タンク式						1			1
衛生器具設備	洋風大便器	タンク式		2	1		1	1			5
具設	小便器	洗浄弁式 壁掛形		2			2				4
備	洗面器			2	2				2		6
	掃除流し						1				1
	化粧鏡			2	2				2		6
 給 水 設 備	水栓類	13A	2			1				1	4
排	床排水トラップ	50A 非防水形 T14A, T5A		1	1	2				2	6
排水設備		50A 防水形 T5B					1	1	1		3
備	床上掃除口	100A 非防水形		1							1
	床下掃除口	100A					1				1
										_	_
ガっ	ガス栓・ガスコック類	15A				3				2	5
ガ ス 設 備											
1/用											

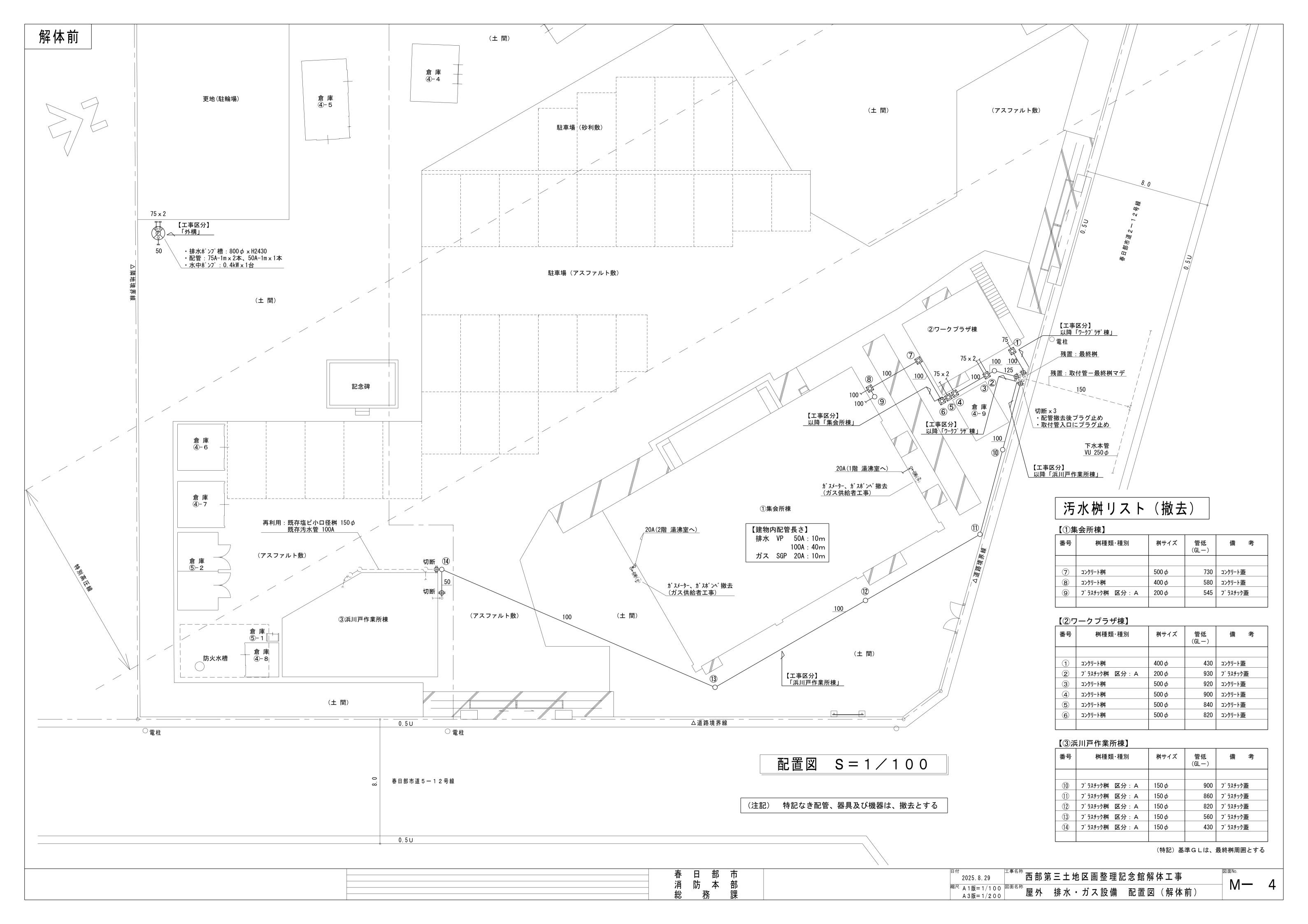
# 機器表(撤去)【①集会所棟】

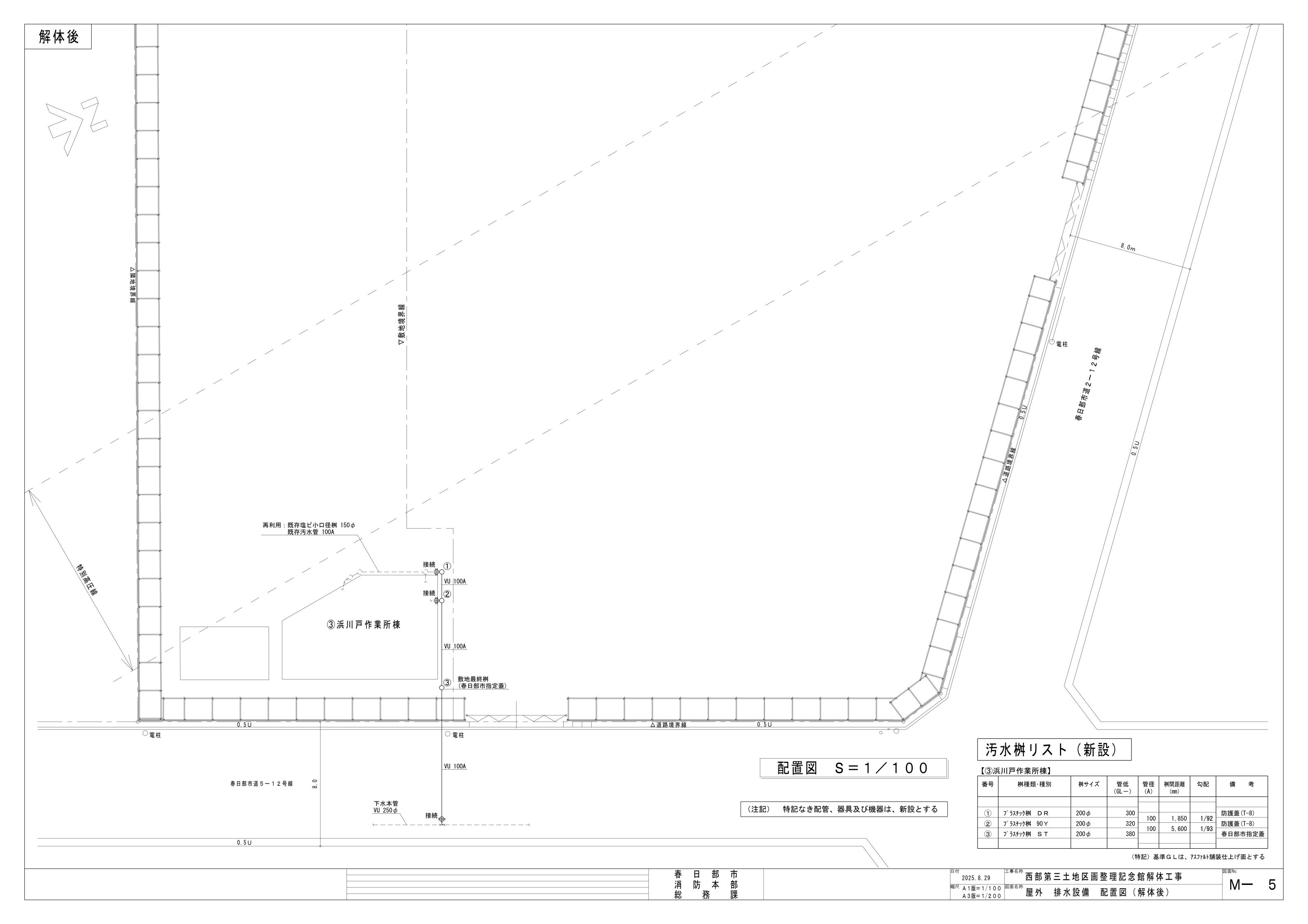
記号	系 統	機器名称	<b>社</b> 様		消費	電力	台 数	設置場所
配方	大 机 		1上 1末	φ	<b>\</b>	kW	口奴	<b>改旦场</b> 例
GHW-1	1階 湯沸室	ガス瞬間湯沸器	型 式 : 開放型(元止め式) 屋内壁掛形	_	1	(乾電池)	1	1階 湯沸室
			給湯能力 : 5号					PH-5BV-1 (パロマ)
			ガス消費量 : 10.5 KW ガス種別 : LPG					
			付属品:					

2025. 8. 29









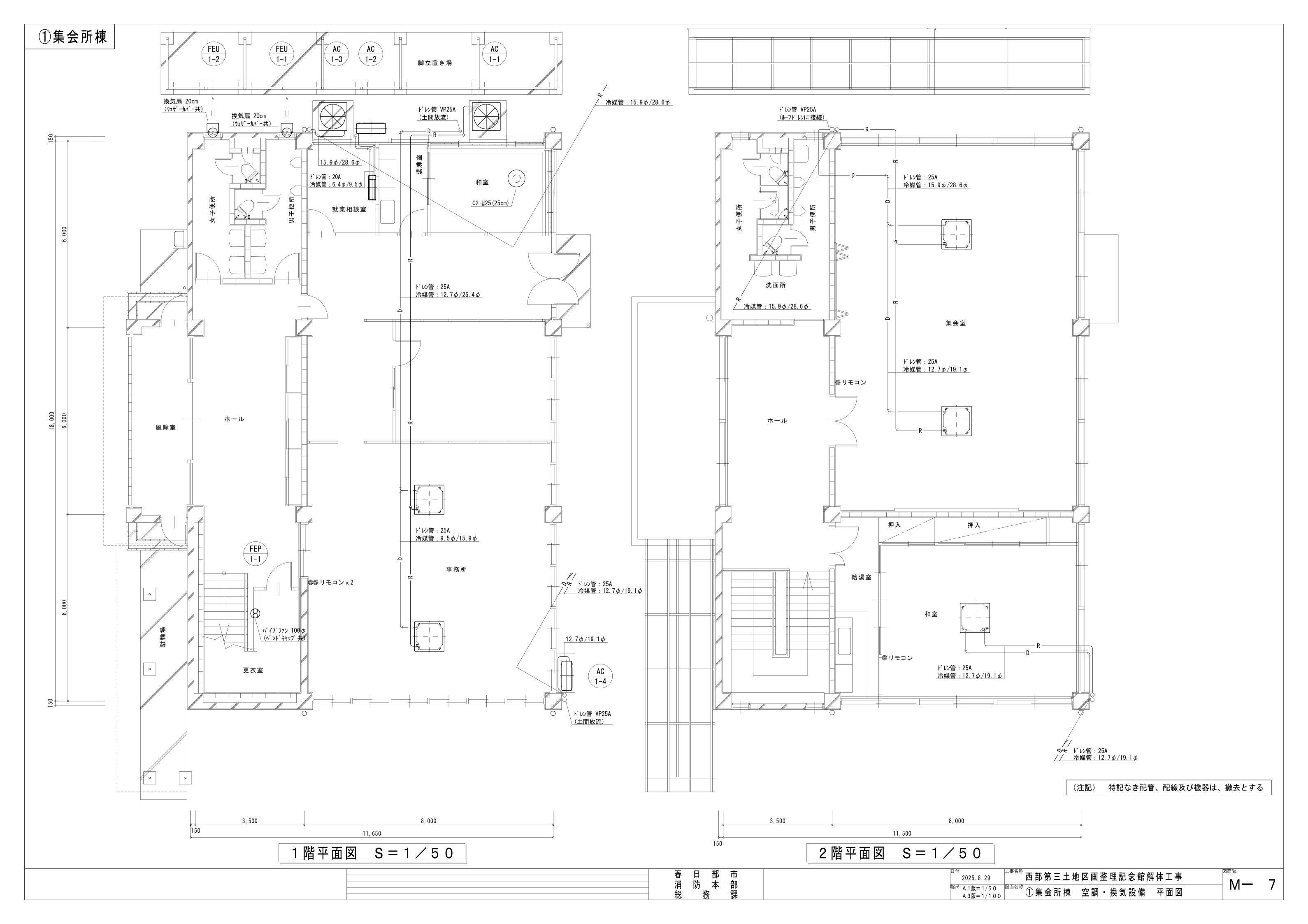
### ①集会所棟

# 機器表(空調)「①集会所棟】

記号	形式 / 設置場所	機器仕様	φ	電気容	序量 kW	台数	備考
AC-1-1	ビル用マルチエアコン	│ 空冷ヒートポンプ空調機 (冷媒 R410A)	-				
	1階 地上	室外機 冷暖房能力(kW):33.5/37.5(12.0馬力)	3	200	12. 7	1組	PQYP335FA (ダイキン工業)
		圧縮機出力(kW):10.7 送風機出力(kW):1.03					
		外形寸法:930×765×1660H 重量(kg):244					
		付属品:防振ゴムパッド					
	1階 事務室	室内機 4方向カセット	1	200	0. 217	2台	FXYFP160DB (ダイキン工業)
		冷暖房能力(kW):16.0/18.0(6.0馬力)					
		送風機出力(kW): 0.053					
		外形寸法:950×950×298H 重量(kg):31.5					
		付属品:ワイヤードリモコン					
AC-1-2	ルームエアコン	空冷ヒートポンプ空調機 (冷媒 R32)					
	1階 地上	室外機 冷暖房能力 (kW) : 2.2/2.5					
		外形寸法:658×275×530H 重量(kg):19.5					
		付属品:樹脂製置台					
	1階 就業相談室	室内機 壁掛形	1	100	0. 56	1組	(室内機電源)
		外形寸法:798×315×240H 重量(kg):9.5					RAS-WBK22J(日立ジョンソンコントロールズ)
		付属品:ワイヤレスリモコン					
AC-1-3	店舗用エアコン	空冷ヒートポンプ空調機 (冷媒 R22)					
	1階 地上	室外機 冷暖房能力 (kW) : 25.0/28.0 (10.0馬力)	3	200	14. 9	1組	CS-250UH5HNB(松下電器産業)
		圧縮機出力(kW): 7.5 送風機出力(kW): 0.300					
		外形寸法:1080×880×1130H 重量(kg):240					
		付属品:防振ゴムパッド					
	2階 集会室	室内機 4方向カセット(ツイン)				(2)	
		送風機出力(kW): 0.110					
		外形寸法:1350×930×320H 重量(kg):62					
		付属品:ワイヤードリモコン					
10.1.1	<b>+ A P - - -</b>						
AC-1-4	店舗用エアコン	空冷ヒートポンプ空調機 (冷媒 R 2 2 )		225	<b>-</b>	4.65	00 110HUELIND (40-7-7-10-7-40)
	1階 地上	室外機 冷暖房能力 (kW) : 11. 2/13. 2 (4. 5馬力)	3	200	7. 55	1組	CS-112UH5HNB(松下電器産業)
		圧縮機出力(kW): 3.75 送風機出力(kW): 0.055 x 2					
		外形寸法:1050×300×1220H 重量(kg):115					
	り降 和奈	付属品:防振ゴムパッド	+			(1)	
	2階 和室	室内機 4方向カセット (シングル)				(1)	
		送風機出力(kW):0.110					
		外形寸法: 1350×930×320H 重量(kg): 62					
		付属品:ワイヤードリモコン					

# 機器表(換気) 【①集会所棟】

	名称 / 系統	機 器 仕 様 	電気容量		t. skt			
記号			φ	٧	kW	台数	設置場所	備 考
FEU-1-1	排気ファン 1階 男子便所系統	型式 : 標準換気扇 能力 : 20 cm x (不明) m3/h	1	100	0. 026	1	1階 男子便所	ウェザーカバー
FEU-1-2	排気ファン 1階 女子便所系統	型式 : 標準換気扇 能力 : 20 cm x (不明) m3/h	1	100	0. 026	1	1階 女子便所	ウェザーカバー
FEP-1-1	排気ファン 1階 更衣室系統	型式 : パイプファン 能力 : 10 cm x (不明) m3/h	1	100	0. 003	1	1階 更衣室	ベンドキャップ



### ②ワークプラザ棟

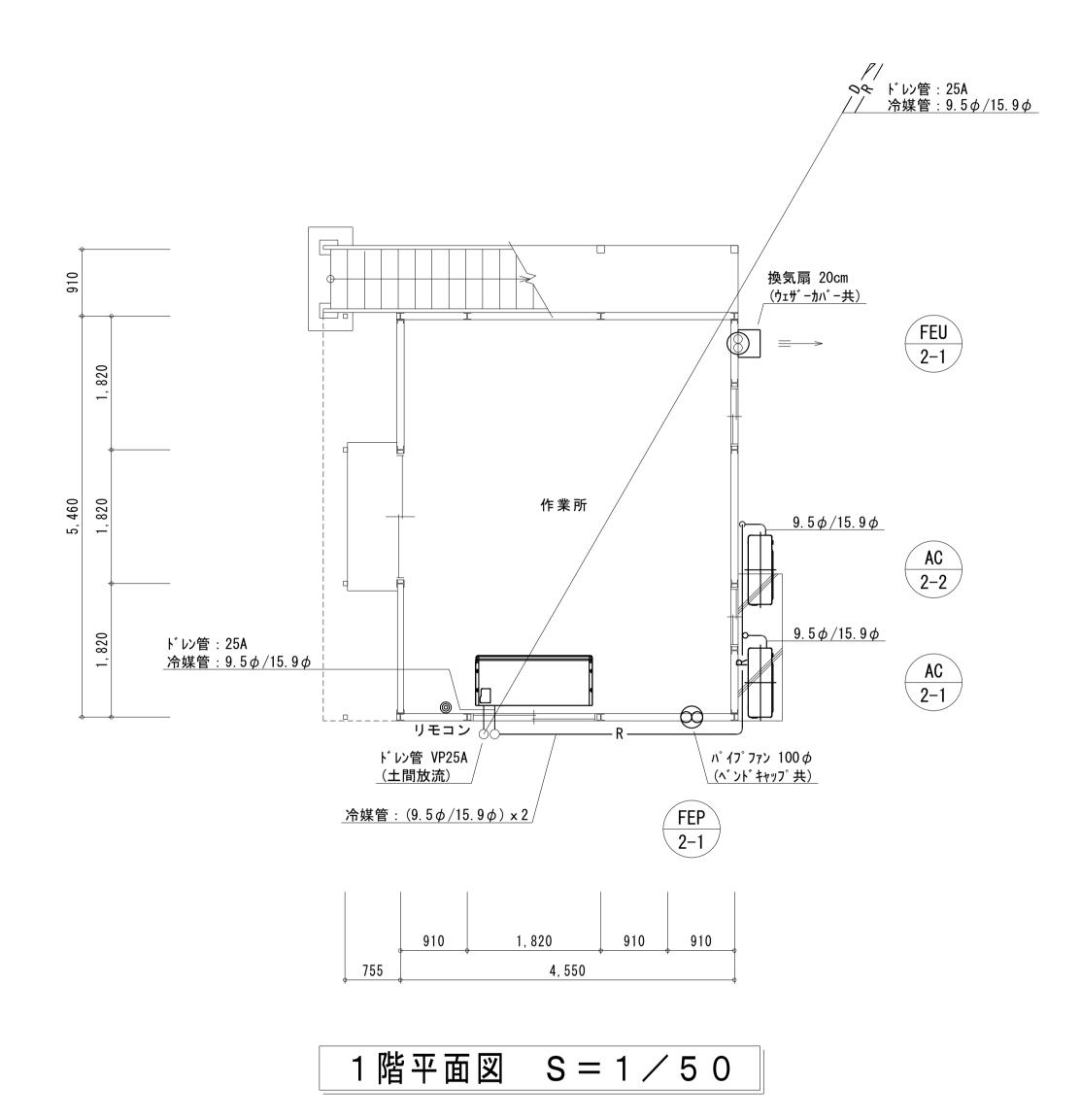
## 機器表(空調) 【②ワークプラザ棟】

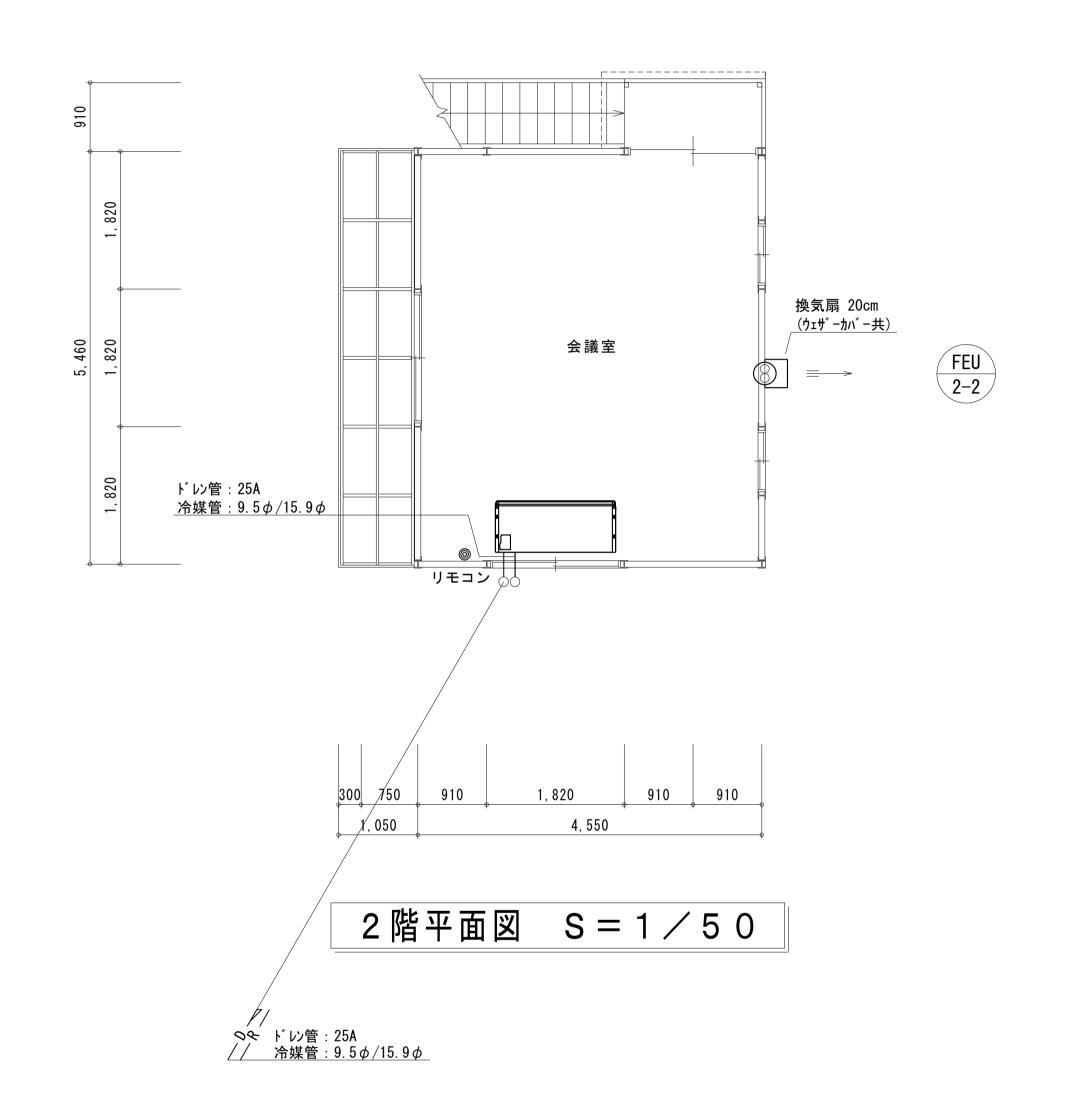
記号	取子 / 凯罗坦克	+4k PP / + + + + + + + + + + + + + + + + +	電気容量			<b>∠&gt; 米</b> Ŀ	<u> </u>
HC -3	形式 / 設置場所	機 器 仕 様	φ	V	kW	台数	備考
AC-2-1	店舗用エアコン	空冷ヒートポンプ空調機 (冷媒 R410A)					
	1階 地上	室外機 冷暖房能力 (kW): 7.1/8.0 (3.0馬力)	3	200	2. 23	1組	SZHYP80HT (ダイキン工業)
		圧縮機出力(kW): 1.70 送風機出力(kW): 0.070					
		外形寸法:900×320×770H 重量(kg):60					
		付属品:防振ゴムパッド					
	1階 作業所	室内機 天吊形 (シングル)				(1)	
		送風機出力(kW): 0.062					
		外形寸法:1160×680×195H 重量(kg):27					
		付属品:ワイヤードリモコン					
AC-2-2	店舗用エアコン	空冷ヒートポンプ空調機 (冷媒 R410A)					
	1階 地上	室外機 冷暖房能力(kW): 10.0/11.2(4.0馬力)	3	200	3. 27	1組	SZHYP112HT (ダイキン工業)
		圧縮機出力(kW): 1.80 送風機出力(kW): 0.070×2					
		外形寸法:900×320×1170H 重量(kg):94					
		付属品:防振ゴムパッド					
	2階 会議室	室内機 天吊形 (シングル)				(1)	
		送風機出力(kW): 0.130					
		外形寸法:1400×680×195H 重量(kg):32					
		付属品:ワイヤードリモコン					

### 機器表(換気) 【②ヮークプラザ棟】

	名称 / 系統	機 器 仕 様 	電気容量						
記号			φ	V	kW	台数	設置場所		備 考
FEU-2-1	排気ファン 1階 作業所系統	型式 : 標準換気扇 能力 : 20 cm x (不明) m3/h	1	100	0. 026	1	1階	作業所	ウェザーカバー
FEU-2-2	排気ファン 2階 会議室系統	型式 : 標準換気扇 能力 : 20 cm x (不明) m3/h	1	100	0. 026	1	2階	会議室	ウェザーカバー
FEP-2-1	排気ファン 1階 作業室系統	型式 : パイプファン 能力 : 10 cm x (不明) m3/h	1	100	0. 003	1	1階	作業室	ベンドキャップ

#### ②ワークプラザ棟





(注記) 特記なき配管、配線及び機器は、撤去とする